

マニュアル

型式:
DTK-1651



[DTK-1651について](#)

[機能](#)

[液晶ペンタブレット情報](#)

[タブレットドライバのインストール](#)

[ファンクションキー](#)

[ペン入力の概要](#)

[液晶ペンタブレットの試験](#)

[トラブルシューティング](#)

[テクニカルサポート](#)



Wacom®

目次

目次	2
DTK-1651について	4
概要	4
DTK-1651の同梱品	4
機能	5
調整	7
液晶ペンタブレット情報	8
製品のヘルプ	8
タブレットドライバのインストール	9
複数のペンタブレット	10
複数の入力デバイスで使う	11
タブレットドライバのアンインストール	12
上級者向けの設定	13
ワコム タブレットのプロパティ	14
ファンクションキー	16
マッピング画面切り替え	17
ボタンの機能	18
ボタン機能切り替え設定	20
ラジアルメニュー	21
タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェア	22
オプション設定	23
特定のソフトウェアに対する設定	24
オンスクリーンコントロール	26
オンスクリーンコントロールのカスタマイズ	28
ペン入力の概要	30
ペン収納ホルダー	30
特殊なペン	30
ペンを使う	31
サイドスイッチを使う	31
ペン入力のカスタマイズ	32
テールスイッチ	34
ペン先とテールスイッチ(消しゴム)の詳細な設定	35
Windowsインクを搭載したペン	36
ワコムデスクトップセンター	37
液晶ペンタブレットのセットアップ	39
液晶ペンタブレットの接続	39
設定ファイルユーティリティ	40
ワコムタブレット設定ファイルユーティリティを利用したバックアップ・復元機能	40

オンスクリーンディスプレイ設定	41
液晶ペンタブレットの試験	42
ファンクションキーのテスト	43
ファンクションキーのテスト	43
リングキーのテスト	43
タッチホイールのテスト	43
ペンのテスト	45
トラブルシューティング	47
トラブルシューティング - 一般の問題	48
一般的な問題	48
トラブルシューティング - ペンおよびタッチの問題	49
トラブルシューティング - オペレーティングシステム	51
用語	52
注文	54
テクニカルサポート	55
お手入れのしかた	56
ペン芯を交換する	56
商標について	57

DTK-1651について

概要

DTK-1651液晶ペンタブレットを使用すると、DTK-1651に付属しているワコム製のペンを使って、簡単にドキュメントを表示し、注釈を付け、署名できます。[機能](#)で、お使いのタブレットの図を確認してください。システム要件および設定手順の詳細は、[液晶ペンタブレット](#)をご覧ください。

パーツと同梱品の説明および液晶ペンタブレットのセットアップ手順については、同梱されている印刷物『クイックスタートガイド』をご覧ください。タブレットドライバCD-ROMで提供されている『DTK-1651ユーザーズガイド』では、液晶ペンタブレットの機能に関する情報に簡単にアクセスできます。『ユーザーズガイド』はワコムの[カスタマーケア](#)からダウンロードすることもできます。

DTK-1651の同梱品

DTK-1651の梱包を解いたときは、必ず以下の部品やアクセサリが揃っていることを確認してください。

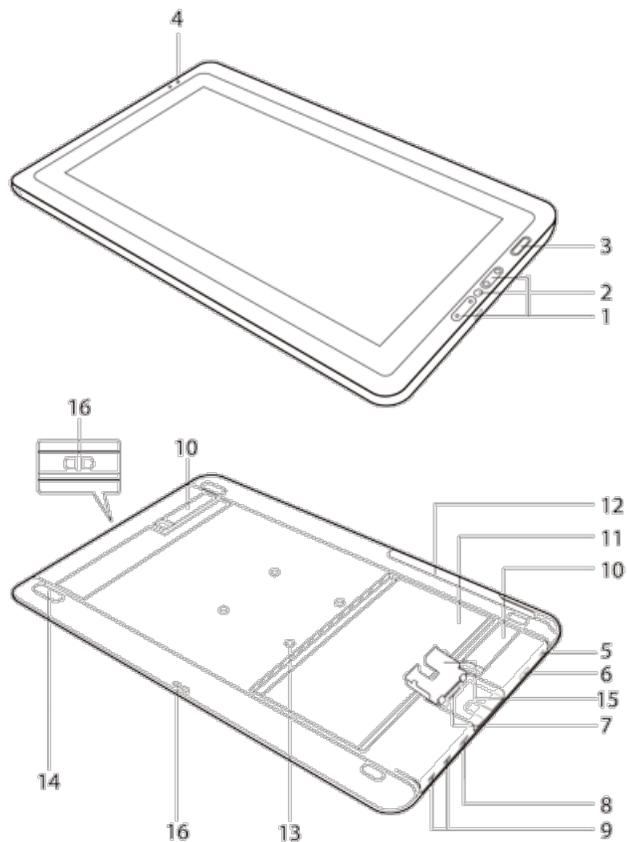
- DTK-1651液晶ペンタブレット
- ペン
- ペン紛失防止ケーブル
- 替え芯
- 芯抜き
- タブレットドライバCD-ROM
- クイックスタートガイド(小冊子)
- 専用接続ケーブル
- ACアダプタ
- 電源ケーブル

機能

以下にDTK-1651液晶ペンタブレットの機能の説明および図が記載されています。

セットアップおよび接続の手順については、液晶ペンタブレットに同梱されている印刷物『クイックスタートガイド』をご覧ください。同梱品のリストは、[DTK-1651について](#)をご覧ください。

- **電源スイッチ**: DTK-1651の端にあります。電源をオンまたはオフにします。
- **機能切り替えボタン**: ベゼルの2つのスイッチキーの間にあります。ファンクションキーモードとオンスクリーンディスプレイ(OSD)モードを切り替えます。
- **スイッチキー**: 機能切り替えボタンの両側にある2ポジションのスイッチキーです。ファンクションキーの機能を設定するため、またはOSDモードでOSDメニューに移動して、選択するために使用されます。[オンスクリーンディスプレイ設定](#)をご覧ください。
- **ExpressKeys™**: 2つのスイッチキーに4つのカスタマイズ可能な位置があります。ファンクションキーを設定して、よく使われる機能やキーストロークを実行したり、ボタンのクリックや修飾キーをエミュレートしたりできます。[ファンクションキーのカスタマイズ](#)をご覧ください。
- **ペンホルダー**: ペンをベゼルに取り付けておくための、スイッチキーの横にある磁気ホルダーです。
- **ペン収納ホルダー**: ペンを収納するための背面の端にある収納部。
- **ペン紛失防止ケーブル取り付け穴**: ペン紛失防止ケーブルを取り付けるための、下端と側面にあるアンカーポイント
- **スタンド**: 縦または横画面用の一体型のスタンドです。DTK-1651は、VESA準拠スタンド(サードパーティーのベンダーから入手可能)でも使用できます。
- **パワーランプ**: LEDの色は、次の状態を示します。
 - 青は画像信号があるとき。
 - オレンジは、スタンバイまたはサスペンドモード(電源はオンですが、画像信号がありません)。
 - 液晶ペンタブレットの電源がオフの場合は消灯します。
- **ステータスランプ**: ペン先、サイドスイッチ、またはボタンの信号が検出されたとき、LEDは青く点灯します。
- **コネクタおよびポート**: DTK-1651の端にあります。
 - 専用接続ケーブルのコネクタとカバー
 - HDMI出力ポート
 - USB 2.0ハブポート(2)
 - セキュリティスロット



番号	機能
1	ファンクションキー(4)
2	機能切り替えボタン
3	磁気ペンホルダー
4	パワーランプとステータスランプ
5	セキュリティスロット
6	電源スイッチ
7	専用接続ケーブルのコネクタ
8	HDMI出力ポート
9	USB 2.0ハブポート(2)
10	横画面用スタンド(2)
11	縦画面用スタンド
12	ペンホルダースロット
13	VESAスタンド取り付け穴
14	ラバーフィート(4)
15	専用接続ケーブルカバー
16	ペン紛失防止ケーブル取り付け穴(2組)

調整

液晶ペンタブレットを最適な状態でお使いいただくために、ペン先の位置調整を行い、画面上のポインタとペン先の位置を合わせます。これは、視野角の補正と視差の調整のために必要です。

1. 液晶ペンタブレットを使用する位置に設置します。
2. 「ワコムタブレットのプロパティ」を開きます。コンピュータに複数の液晶ペンタブレットを接続している場合は、位置を調整する液晶ペンタブレットを「デバイス」リストから選択します。
3. 「入力デバイス」リストから「ペン」を選択します。
4. 「位置調整」タブを選択します。



5. 複数のディスプレイを使用している場合は、「モニター」欄でドロップダウンメニューから液晶ペンタブレットを選択してください。コンピュータが認識しているディスプレイがリストに表示されます。
6. 「調整開始...」をクリックして位置調整画面を開きます。
7. 液晶ペンタブレットを通常使用するときの姿勢と目の位置(高さ)で、普段通りにペンを持ちます。左上に表示された十字マークの中心をペン先でクリックします。
8. 左上に続いて、画面上でその他の隅に表示される十字マークの中心をクリックします。
9. ディスプレイ上の数カ所をペンでタッチし、ポインタとペン先の位置が合っているかテストします。
10. 問題がなければ「OK」をクリックします。再度調整する場合は「再調整」をクリックします。

液晶ペンタブレット情報

新しい液晶ペンタブレットは、セットアップとタブレットドライバのインストール後にご利用いただけます。同梱品の一覧、セットアップおよびドライバのインストール手順、については、液晶ペンタブレットに同梱されている『クイックスタートガイド』をご覧ください。

特定のコンピュータハードウェアまたはオペレーティングシステムの情報、またはお使いのソフトウェアの情報は、液晶ペンタブレットには含まれていません。お使いのハードウェア、オペレーティングシステム、またはソフトウェアで提供される製品情報をご覧ください。

タブレットドライバCD-ROMで提供されている『製品に関する重要なお知らせ』には、お使いの液晶ペンタブレットの安全上の注意、仕様、保証、および使用許諾契約についての記載があります。

製品のヘルプ

本機が提供する製品情報は、WindowsとMacのコンピュータで共通です。特に注記がない限り、Windowsの画面が示されています。

ヘルプトピックから、液晶ペンタブレットの機能に関する情報に簡単にアクセスできます。使用しているパネルまたはダイアログボックスの「？」アイコンをクリックすると、「ワコムタブレットのプロパティ」またはワコムデスクトップセンターのヘルプトピックにいつでもアクセスできます。その他のトピックは、ヘルプの目次またはヘルプの検索機能を使用して見つけることができます。

タブレットドライバのインストール

ペンタブレットの全機能を正しく発揮させるには、タブレットドライバをインストールする必要があります。WindowsとMacのどちらの場合でも、ドライバはタブレットドライバCD-ROMで提供されます。

- コンピュータがインターネットに接続されている場合、ペンタブレットをコンピュータに接続したときに、ワコムのカスタマーケアから最新のドライバがダウンロードされます。接続の手順については、本機に同梱されている『クイックスタートガイド』をご覧ください。
- インターネット接続がない場合は、タブレットドライバCD-ROM上のタブレットドライバをインストールします。

最新のドライバはいつでもワコムサポートから入手できます。ドライバにアクセスし、その他のサポートオプションを表示するには、wacom.comに移動して「サポート」をクリックしてください。ドライバがインストールされた後、ワコムデスクトップセンターにタブレットドライバの更新がいつ利用できるか表示されます。

1. コンピュータをペンタブレットに接続します。
2. 作業を保存し、開いているソフトウェアをすべて閉じます。
3. タブレットドライバをインストールします。
 - コンピュータをペンタブレットに接続した後で表示されるタブレットドライバインストールオプションを選択します。「**Install Tablet**」をクリックして、画面に表示される指示に従い、タブレットドライバをインストールします。
 - インターネット接続がない場合は、タブレットドライバCD-ROMからタブレットドライバをインストールします。インストール画面が表示されない場合は、タブレットドライバCD-ROMのフォルダに表示される「インストール」または「スタートアップ」アイコンをダブルクリックします。電源ランプ(Intuos)またはステータスランプ(Intuos Pro)の点灯で、ペンタブレットとコンピュータの接続を確認することができます。

タブレットドライバのインストール完了後、ペンタブレットの表面上でペンを使用してポインタが動くことを確認してください。

- ペンタブレットの操作エリア上またはその近くにペン先を置くと、ポインタは直ちにペン先に合わせて移動します。
- ペン先を持ち上げ、ペンタブレット上の異なる位置に移動すると、ポインタは再び新しい位置に移動します。

注意や警告については、ワコムデスクトップセンターまたはタブレットドライバCD-ROMからアクセスできる『製品に関する重要なお知らせ』ドキュメントをご覧ください。

注意:

- タブレットドライバはユーザー固有の環境設定を可能にします。ユーザはログオンした後、「ワコムタブレットのプロパティ」で自分の個人設定をカスタマイズすることができます。(ログオンまたはユーザの切り替え操作によって)ユーザが切り替わると、自動的に新しいユーザの個人設定を読み込まれます。[タブレット設定を管理する](#)をご覧ください。

複数のペンタブレット

システムに接続されている任意のペンタブレットまたは液晶ペンタブレットについて、入力デバイスおよびアプリケーションの設定をカスタマイズできます。各ペンタブレットのアイコンは、「ワコムタブレットのプロパティ」の「デバイス」リストおよびワコムデスクトップセンターをサポートするデバイスのワコムデスクトップセンターのペンタブレット選択バーに表示されます。

- 新しいペンタブレットまたは液晶ペンタブレットを追加するには、そのペンタブレットをコンピュータに接続します。ペンタブレットが自動的に検出され、初期化が行われます。そのアイコンは、「ワコムタブレットのプロパティ」およびワコムデスクトップセンターの選択バーに表示され、関連付けられている入力デバイスが「入力デバイス」リストに表示されます。「[ワコムタブレットのプロパティの概要](#)」と[ワコムデスクトップセンター](#)をご覧ください。
- 接続されているいずれかのペンタブレットまたは液晶ペンタブレットを使用するには、該当するペンタブレットを「デバイス」リストから選択して、設定をカスタマイズします。削除するには、「ワコムタブレットのプロパティ」の「デバイス」リストの横にある「-」ボタンをクリックします。
- ペンタブレットまたは液晶ペンタブレットを「ワコムタブレットのプロパティ」のリストから削除するには、該当ペンタブレットがコンピュータに接続されている必要があります。削除したペンタブレットを再度リストに追加するには、先にコンピュータを再起動する必要があります。
- ペンタブレットまたは液晶ペンタブレットの設定をカスタマイズするには、「デバイス」リスト内のアイコンをクリックします。

補足:

- ワコムデスクトップセンターがサポートされないデバイスもあります。
- 「ワコムタブレットのプロパティ」は、タブレットドライバに対応したペンタブレットまたは液晶ペンタブレットが少なくとも1台コンピュータに接続されないと表示されません。
- 接続されているペンタブレットまたは液晶ペンタブレットに対してのみ設定の表示および変更が可能です。
- 追加したペンタブレットまたは液晶ペンタブレットを使用するときに、ソフトウェアによってはテールスイッチ（消しゴム）機能が動作しない場合があります。

複数の入力デバイスで使う

「ワコムタブレットのプロパティ」で、ペンタブレットまたは液晶ペンタブレット、および入力デバイスの設定のカスタマイズと管理を行います。「タブレットのプロパティ」を開く際に使用した入力デバイスが自動で選択され、その入力デバイスに対応したタブが表示されます。

- 「入力デバイス」リストには、デバイスで使用された機能と入力デバイスのアイコンが表示されます。
- タッチ入力に対応したデバイスの場合は「タッチパネル」アイコンが利用できます。
- 特定のアプリケーション(ソフトウェア)に対する設定が追加されていない場合、「すべて」アイコンが表示され、入力デバイスに対する設定はすべてのソフトウェアに適用されます。
- 「+」および「-」ボタンで、選択した入力デバイスの追加または削除ができます。リストに項目がひとつしかない場合はこのボタンは機能しません。「ファンクション」および「タッチパネル」アイコンは削除できません。

「入力デバイス」リストに入力デバイスを追加するには、ペンタブレットで追加する入力デバイスを使用してください。

- 「入力デバイス」リストに追加されている入力デバイスを選択すると、対応するタブ設定が表示されます。タブ設定に対して行った変更は、入力デバイスに適用されます。
- 類似の入力デバイスが追加されていた場合、新しい入力デバイスは古い入力デバイスの設定を引き継ぎます。設定は、新規に追加された入力デバイスに合わせてカスタマイズすることができます。同一の入力デバイスには同じ設定が適用されます。

「入力デバイス」リストから選択した入力デバイスを削除するには、「入力デバイス」リストの「-」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスで「削除」をクリックします。選択した入力デバイスは、作成済みのカスタム設定とともにリストから削除されます。

タブレットドライバのアンインストール

タブレットドライバをアンインストールすると、ペンタブレットの機能性は失われます。デフォルト設定の状態ではペンタブレットの機能性を回復するには、ドライバを再インストールしてください。

Windows 10およびWindows 8[®]の場合：

1. 画面の左下隅で右クリックし、表示されるポップアップメニューで「コントロールパネル」を選択します。
2. 「プログラムのアンインストール」または「プログラムの追加と削除」を選択します。
3. 「ワコムタブレット」を選択して「削除」ボタンをクリックします。

Windows 7[®]の場合：

1. 「スタート」ボタンをクリックして「コントロールパネル」を選択します。
2. 「ワコムタブレットのプロパティ」を選択します。
3. 「プログラムと機能」を選択します。
4. 「プログラムのアンインストールと変更」をクリックします。
5. 「ワコムタブレット」を選択して「アンインストール」ボタンをクリックします。

Mac[®]の場合：

1. 「移動」メニューから、「アプリケーション」を選択し、「ワコムタブレット」フォルダを開きます。
2. 「ワコムタブレットユーティリティ」アイコンをダブルクリックします。「タブレットドライバ」の「削除」ボタンをクリックします。
3. 管理者のユーザ名とパスワードを入力します。
4. 削除が完了したら、「OK」をクリックします。

注意：アンインストールを有効にするためにコンピュータを再起動しなければならない場合があります。

上級者向けの設定

上級者向けの設定を組み込む機能によって、XML (Extensible Markup Language) ファイルの指定どおりにカスタマイズされた「ワコムタブレットのプロパティ」の設定を組み込むことができます。ソフトウェア開発者によっては、そのソフトウェアをワコム製ペンタブレットで使用する際に最適なパフォーマンスが得られるように設計された、カスタム設定ファイルを作成している場合があります。

XMLファイルによっては、複数のソフトウェアに対応してカスタマイズされた設定を含む場合があります。これらの設定はファンクションキー、オンスクリーンコントロール、ペンのサイドスイッチあるいは消しゴムやその他の機能に適用できる場合があります。

上級者向け設定の組み込み方:

1. [ワコムデスクトップセンター](#)を使って上級者向けの設定を組み込む前に、「ワコムタブレットのプロパティ」の既存設定をバックアップします。
2. 特定のソフトウェアでの使用に設定したXMLファイルを選択します。選択したファイルをダブルクリックします。
3. 確認ダイアログの指示を確認し、指示に従って操作します。複数のソフトウェアに対応する設定が組み込まれると、それらのソフトウェアの以前の設定は書き替えられる場合があります。
4. 「続行」を選択して設定をインポートするか、「キャンセル」を選択します。

設定の組み込みを選択した場合、XMLファイルで記述された設定のみが組み込まれます。対応するすべての設定は、新しい設定値で書き替えられます。対応していない設定は更新されません。

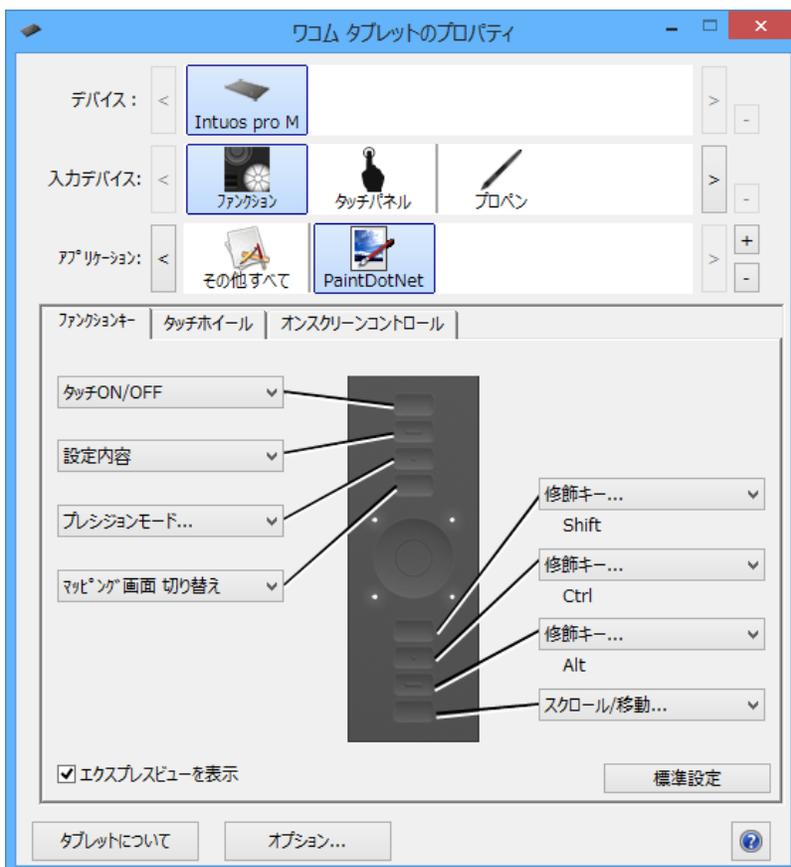
組み込みが完了したら、新しい設定を「ワコムタブレットのプロパティ」で確認することができます。

ワコム タブレットのプロパティ

「ワコムタブレットのプロパティ」を使って、ペンタブレットや入力デバイスをカスタマイズできます。「ワコムタブレットのプロパティ」を開くと、接続されているすべてのタブレットと、タブレットで使用されているすべての入力デバイスのアイコンが「入力デバイス」リストに表示されます。また、ペンタブレットのタッチ機能を設定するための「タッチパネル」アイコンも表示されます。選択されたペンタブレットに、すべての設定が適用されます。

カスタマイズするには、「ファンクションキー」、「マッピング画面切り替え」、およびその他の機能のタブで利用できるコントロールを変更します。変更した設定内容はすぐに反映されます。標準設定に戻すには、「標準設定」ボタンをクリックします。キーボードの「Tab」キーと矢印キーを使って、「ワコムタブレットのプロパティ」を操作することができます。

ほとんどの「ワコムタブレットのプロパティ」の項目の上にヒントが表示されます。項目の上に画面のポインタを合わせると、ヒントがすぐにポップアップ表示されます。



「ワコムタブレットのプロパティ」の機能:

- 「デバイス」、「入力デバイス」、「アプリケーション」アイコンは、それぞれの設定を示しています。
 - ファンクションキーとタッチホイールの設定をカスタマイズするには、「機能」をクリックします。
 - マルチディスプレイでお使いの場合は、「マッピング画面切り替え」オプションが利用できます。
 - タッチの設定をカスタマイズする場合は、「タッチパネル」をクリックします。
 - その他の設定をカスタマイズする場合は、対象の入力デバイスアイコンをクリックします。入力デバイスアイコンは、その入力デバイスを使用すると表示されます。
- 「標準設定」を押すと、選択されているタブの設定を標準設定の状態に戻します。
- 「バージョン情報」にはソフトウェアバージョン診断情報が表示されます。
- 「オプション」を押すと「オプション」ダイアログボックスが表示されます。
- 「？」アイコンを押すと、選択しているタブのヘルプピックが表示されます。

補足:

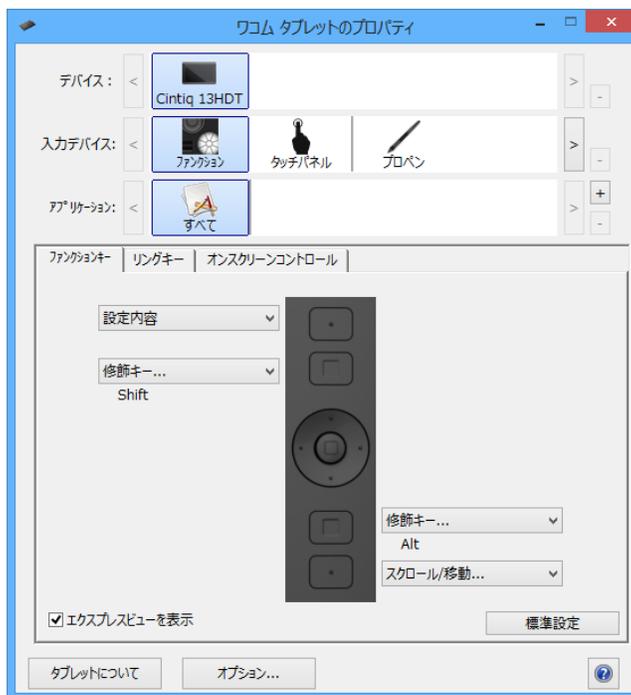
- 「ワコムタブレットのプロパティ」は、タブレットドライバに対応したペンタブレットがコンピュータに接続されないと表示されません。
- Intuosのみを接続している場合は、「ワコムタブレットのプロパティ」に「デバイス」行と「入力デバイス」行は表示されません。
- 接続されているペンタブレットに対してのみ設定の表示および変更が可能です。
- 「アプリケーション」リストは必要に応じて設定してください。入力デバイスをカスタマイズするために、ソフトウェアを選択または追加する必要はありません。

ファンクションキー

ファンクションキーをカスタマイズすると、機能をすばやく簡単に実行できます。ワコム液晶ペンタブレットには、デバイスに応じて4つ以上のファンクションキーがあります。

「ワコムタブレットのプロパティ」で「ファンクションキー」タブを選択して、ドロップダウンメニューから機能を選択します。左右両方のベゼルに一連のファンクションキーがある液晶ペンタブレットでは、「左」と「右」別々の指定、またはボタンがあり、各側で個別にファンクションキーをカスタマイズできます。

一部の液晶ペンタブレットモデルでは、「ファンクションキー」タブの「エクスプレビューを表示」チェックボックスをクリックしてエクスプレビューを有効にできます。チェックボックスを選択すると、任意のファンクションキーを軽くタッチして現在のファンクションキーの設定を画面に表示できます。



マッピング画面切り替え

マルチディスプレイでお使いの場合は、「マッピング画面切り替え」オプションが利用できます。接続されているその他すべてのディスプレイ、または1つのディスプレイを使って液晶ペンタブレットで作業できます。

お使いのペンタブレットがマルチディスプレイ環境に接続されている場合、「ワコムタブレットのプロパティ」には「マッピング画面切り替え」タブが自動的に表示されます。このタブで、ディスプレイを切り替える順番を選択します。

ファンクションキーまたはペンのサイドスイッチを「マッピング画面切り替え」に設定すると、デバイスボタンを押すことで、基本マッピングとその他のディスプレイマッピングを順番に切り替えることができます。次の表示オプションがあります。

- 「デスクトップ全体に切り替える」では、液晶ペンタブレットのポインタがシステムのデスクトップ全体に切り替わります。デバイスボタンをもう一度押すと、ポインタが液晶ペンタブレットへ戻ります。
- 「他のモニタに切り替える」では、液晶ペンタブレットのポインタが他のディスプレイに切り替わります。デバイスボタンを押すたびにポインタはディスプレイ間を移動し、最後に液晶ペンタブレットに戻ります。



- 「表示エリア」の設定で、画面上のペンの操作エリアのサイズを変更できます。
- 「縦横比を保持」は操作エリアのサイズを、液晶ペンタブレットと他のディスプレイを加えた全体、またはディスプレイの間で正確な縦横比率を保持できるように自動調整します。設定内容によっては、操作エリアの一部は、このオプションを選択した場合に使用できなくなる場合があります。選択をしないと、正確な縮尺比または比率は維持されません。
- 「小さな領域を使う」は、操作エリアを15.2 x 20.3 cmのサイズに制限します。もし「縦横比を保持」も合わせて選択すると、操作エリアはさらに小さくなります。選択をしないと、液晶ペンタブレットの操作エリアの大部分が本機からディスプレイへのマッピングに使用されます。

重要:「マッピング画面切り替え」で特定のアプリケーションに対する設定を使用している場合、「アプリケーション」リスト(「その他すべて」も含む)上のカスタマイズ済みのソフトウェアに「マッピング画面切り替え」が割り当てられたデバイスボタンかファンクションキーがあることを確認してください。

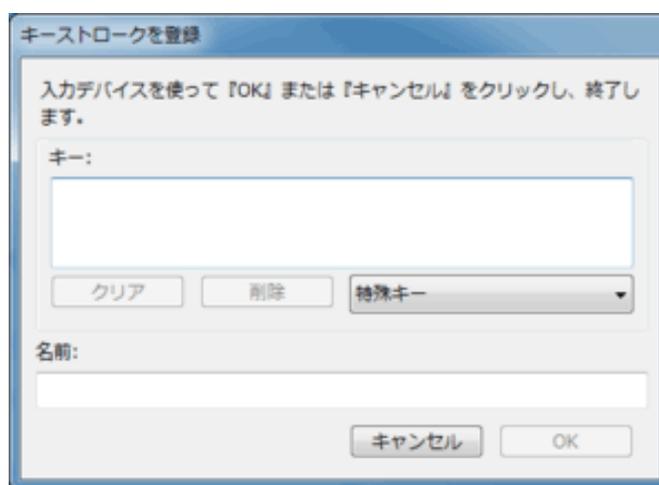
次の動作のいずれかを行うと、切り替えの順番は基本マッピングに戻ります。

- 筆圧をサポートするグラフィックソフトを起動したとき
- システムをログアウトするか、再起動したとき
- ユーザを切り替えたとき
- システムをスリープモードにしたとき
- 「マッピング画面切り替え」の設定を変更したとき
- システム上のディスプレイの解像度または数を変更したとき
- 「ペン⇄マウスモード...」機能を使用したとき
- オンスクリーンコントロールから「ペンモード」または「マウスモード」を選択したとき。

ボタンの機能

ペンタブレットまたは液晶ペンタブレットのサイドスイッチ、ファンクションキー、およびその他の要素に割り当てられている機能をカスタマイズするには、「ワコムタブレットのプロパティ」を使用します。機種により、割り当てることのできる機能は異なる場合があります。切り替え動作のみが可能なボタン機能を、[ボタン機能:切り替え設定](#)に示します。

- クリック: マウスの左ボタンクリックに相当します。ポインタの操作やクリックが行えるように、必ずボタンの1つに設定してください。
- 右ボタンクリック: マウスの右ボタンクリックに相当します。クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。
- 中ボタンクリック: 中ボタンクリックを行います。
- ダブルクリック: ダブルクリックに相当します。ペン先で2度たたき代わりにこの機能を使用すると、ダブルクリック操作が簡単になります。
- クリックロック: マウスの左ボタンを押し続けている状態になります。デバイスボタンを1回押すと、クリックロックの状態になり、もう1回押すと解除されます。クリックロックは、オブジェクトをドラッグしたり、テキストブロックを選択したりする場合に便利です。
- 第4ボタンクリックまたは第5ボタンクリック: マウスの第4ボタンクリック(戻る)または第5ボタンクリック(進む)に相当します。
- キーストローク: 「キーストロークを登録」ダイアログボックスが開き、ファンクションキー、マウス、およびその他の機能を組み合わせたキーストロークを作成できます。



- キーストロークの組み合わせを「キー」ボックスに入力します。キーストロークには、文字キー、テンキー、ファンクションキー、修飾キーを組み合わせることができます。「特殊キー」ドロップダウンメニューから、組み合わせを選択することもできます。
- 割り当てた一組のキーストロークに任意の名称を設定して、「OK」をクリックします。
- 「削除」ボタンは、「キー」入力ボックスに入力した最新の入力のみを削除します。「クリア」ボタンは、「キー」入力ボックスをクリアします。
- キーストロークの組み合わせを入力したら、「OK」をクリックします。
 - 注意: 「Enter」キー (Windows[®]) および「return」キー (Mac[®]) は「キーストロークを登録」ダイアログボックスの「OK」を選択するのに使用しないでください。
- キーストローク定義に名前を入力します。キーストローク機能は、ソフトウェアごとに設定できます。
- タッチホイールまたはマウスホイールにキーストロークを割り当てる場合、ダイアログボックスには2つの「キー」入力ボックスが表示されます。タッチホイール上での時計回りおよび反時計回りの回転動作やマウスホイールの奥と手前への回転動作にキーストローク機能を割り当てます。

各ソフトウェアがどのキーストロークショートカットに対応しているかについては、そのソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

修飾キー...: このダイアログボックスで、修飾キー (Windowsの「Shift」、「Alt」、「Ctrl」キーや、Macの「Shift」、「Option」、「Command」、「Control」キーなど) の機能を割り当てることができます。「キー」設定を使用して、修飾キーの機能およびマウスの該当ボタンを押す動作をシミュレーションする修飾キーを割り当てます。

戻るおよび進む: ブラウザの「戻る」と「進む」コマンドに相当します。

スクロール/移動: ペン入力のためのオプションです。文書または画像をウィンドウ内で自由に移動させることができます。「スクロール/移動」に設定されたサイドスイッチを押して、ペンタブレットの操作エリアでペン先をドラッグします。「スクロール/移動」スライダを使用して、手のひらツール(ピクセルレベル)での移動に対応していないソフトウェアで使用するスクロール速度を設定します。

オートスクロール/ズーム:ほとんどのグラフィックソフトウェアではズームに、他のソフトウェアではスクロールに設定されます。※ソフトウェアによっては、ズームがスクロールとみなされたり、あるいは全く機能が働かない場合があります。(一部のデバイスで利用できます。)

スクロールおよびズーム:タッチホイールにスクロール動作とズーム動作を設定します。(一部のデバイスで利用できます。)

デスクトップの表示:開いているウィンドウをすべて最小化して、デスクトップを表示します。

タスク切り替え:起動中のソフトウェアの中で、前面に表示させたいソフトウェアをウィンドウ切り替えダイアログから選択できます。Aeroを搭載したWindows 7[®]およびWindows Vista[®]のシステムでは、フリップ3Dが起動して、前面に表示させたいソフトウェアを選択できます。

開く/起動:ダイアログボックスを開いて、起動する特定のソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択できます。項目を参照して選択すると、「名前」ボックスに選択した項目が表示されます。「OK」をクリックすると、その項目がデバイスボタンオプションとして割り当てられます。OSCラジアルメニューを選んだ場合、その場所に表示されるようになります。

Exposé: (Mac[®])画面に開いているウィンドウをすべてタイル表示します。ダイアログボックスで「キーストローク...」→「特殊キー」メニューを選択して、このオプションを表示します。

筆圧一定:デバイスボタンを放すまで、筆圧を一定に保ちます。たとえば筆圧感度を使って描画をし、筆の太さが希望のレベルになったところで次にボタンを押すと、ボタンを放すまで同じブラシのサイズで描き続けることができます。

無効:すべてのデバイスボタン機能を無効にします。

アプリケーションの設定に従う:この機能は、組み込みサポートを搭載したCADプログラムなどのソフトウェア用です。ソフトウェアにデバイスボタンの数の情報を送ります。また、高度な統合ソフトウェアによっては、ファンクションキーとタッチホイールを直接コントロールすることができるようになります。

設定内容:ファンクションキー、タッチホイール、ペン、およびタッチのインタラクティブな設定一覧を画面に表示します。現在割り当てられている機能が表示されます。画面の任意のセクションをクリックして「ワコムタブレットのプロパティ」の適切なタブを開き、必要に応じて設定を調節します。

ボタン機能切り替え設定

「ワコムタブレットのプロパティ」を使用して、サイドスイッチ、ペン、ファンクションキー、およびその他の要素に割り当てられている機能をカスタマイズできます。以下のボタン機能は、設定の切り替えをコントロールします。その他のボタン機能については、[ボタン機能](#)で説明しています。

プレジジョンモード: スライダを調節し、ペン先位置周辺のマッピングの比率を変更します。この機能をデバイスボタンに割り当てると、デバイスボタンを押し続けている間このモードに入り、ボタンを放して通常のマッピングに戻すことも可能です。ペンやマウスがマウスモードの場合、ポインタの動作について、加速は「OFF」、速度は「遅い」で動作するように調整されます。

マッピング画面切り替え: マルチディスプレイシステムで使用します。この機能の割り当てられたファンクションキーを押すと、マッピングとポインタを現在のディスプレイから別のディスプレイへ切り替えることができます。

ペン⇄マウスモード: サイドスイッチに設定され、ペンモードとマウスモードを切り替えます。ボタンを「ペン⇄マウスモード...」に設定するときに、初めにマウスモードで、スライダを使用してポインタの加速と速度を調節します。

スキップ: 切り替えスイッチの機能切り替え時にスキップさせる(順番を飛ばす)機能を設定することができます。

Ink文字認識 ON/OFF: (Mac) Inkの「手書き認識」機能のオンとオフを切り替えます。「手書き認識」機能をオンにすると、Inkは筆跡を認識して、手書き文字をテキストに変換し、ドキュメントに挿入します。

タッチ機能 on/off切り替え: 「タッチ機能on/off切り替え」は、ペンモードのみで作業したい場合に使用します。「タッチ機能on/off切り替え」を割り当てたファンクションキーを押すことによって、タッチ入力を無効にします。タッチを有効にするには、再度このファンクションキーを押します。

「マウスモード」は「ワコムタブレットのプロパティ」内の別のダイアログからでもアクセスし設定できます。「ポインタの加速」と「ポインタの速度」は、カスタマイズ中の入力デバイスとソフトウェアにつき、1つしか設定できません。

注意: これらのマウスモード設定は、システム設定からは独立しています。「ワコムタブレットのプロパティ」内で設定を変更しても、システム側の同内容の設定に影響しません。しかし、システム側で同内容の項目の設定を変更すると、お使いのタブレット設定に影響する場合があります。

ラジアルメニュー

すべての製品のラジアルメニュー機能が、「ワコムタブレットのプロパティ」の「オンスクリーンコントロール」タブから利用できるようになりました。ラジアルメニュー表示は、スクリーンキーパネルを作成、編集、または複製するとき、「オンスクリーンコントロール」タブから開くダイアログにある円形のアイコンをクリックすると選択できます。

オンスクリーンコントロールの使用方法的詳細については、[オンスクリーンコントロールの作成](#)および[オンスクリーンコントロールのカスタマイズ](#)をご覧ください。

タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェア

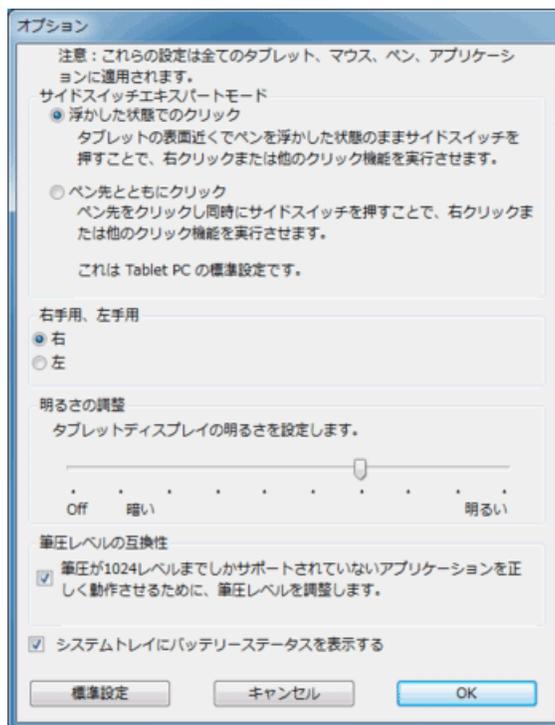
一部のソフトウェアはファンクションキー、タッチホイールまたはリングキーの設定を直接コントロールすることがあるので、「ワコムタブレットのプロパティ」で設定した機能と違った動作をすることがあります。注意: タッチホイールまたはリングキーがない液晶ペンタブレットもあります。

- ファンクションキーの設定がソフトウェアによって書き換えられた場合、ファンクションキーは自動的に更新され、「アプリケーションの設定に従う」と表示されるか、または新しい機能名が付けられます。ソフトウェアによっては、ファンクションキーのいくつか、またはすべてがソフトウェアにより書き換えられることがあります。
- ソフトウェアがタッチホイールまたはトラックパッドの設定を書き換えた場合、すべての機能がその影響を受けます。ソフトウェアが機能の一部を書き換えると、残りの機能は「スキップ」に設定されます。
- ソフトウェアが実行中で最前面に表示されている場合のみ、このソフトウェアによるコントロールが有効になります。そのソフトウェアを終了する(または作業する別のソフトウェアのウィンドウを選択する)と、「ワコムタブレットのプロパティ」の設定は以前の状態に戻ります。
- 現在最前面にあるソフトウェアの設定を確認するには、いずれかのファンクションキーを「設定内容」に設定して適時そのキーを押します。

通常、このような処理を組み込んだソフトウェアでは、ワコムデバイスの使用にあたり、この機能を選択しないかまたは無効にできます。この機能をカスタマイズまたは無効にする方法の具体的な詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。このような情報がない場合、「ワコムタブレットのプロパティ」を使用して、特定のソフトウェアに対する設定を作成し、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアの動作に優先させることができます。

オプション設定

「オプション」ダイアログボックスでは、ペンタブレットの様々な動作をお好みに合わせて設定できます。「オプション」ダイアログボックスを表示するには、「ワコムタブレットのプロパティ」で「オプション...」ボタンをクリックします。「オプション」ダイアログボックスの項目は、使用しているデバイスによって異なる場合があります。



サイドスイッチエキスパートモードの設定：

- 「浮かした状態でのクリック」を選択した場合は、ペンをタブレット面から少し浮かせた状態でサイドスイッチをクリックします。
- 「ペン先とともにクリック」を選択した場合は、正確なクリック位置を決めることができます。サイドスイッチを押しながら、ペン先をタブレット表面にタッチすることでクリック操作を行います。

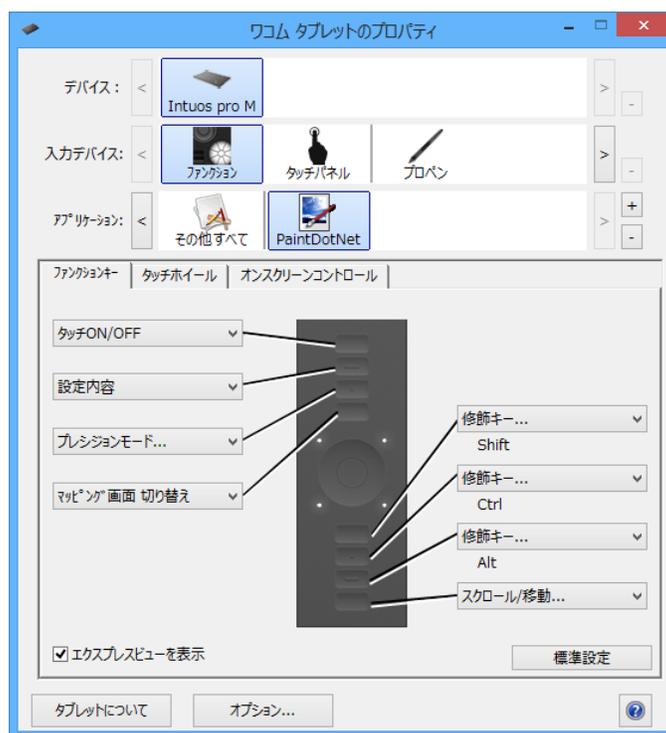
追加設定には以下が含まれていることがあります。

- 「右手用、左手用」の設定では、マウスを右手、または左手で使えるように、ボタン機能の配列を切り替えます。
- 「明るさの調整」で、ステータスランプおよび操作エリアマーカー（ランプ）の明るさを「Off」から「明るい」の範囲で設定します。（一部のデバイスで利用できます。）
- 筆圧レベルが1024レベルまでしかサポートされていないグラフィックソフト（Adobe CC、Corel Painterなど）を使用する場合は、「筆圧レベルの互換性」チェックボックスを必ず選択してください。これを選択することで、ペンの感度が高くなり過ぎることを防げます。
- ワイヤレスキットの使用をサポートするデバイスの場合、ワイヤレス操作中に「システムトレイにバッテリーステータスを表示する」チェックボックスをオンにすると、システムのタスクトレイ（Windows）またはメニューバー（Mac）に充電ステータスアイコンが表示されます。

特定のソフトウェアに対する設定

「アプリケーション」リストでは、個々のソフトウェアを追加したり、特定のソフトウェア向けに入力デバイスの設定をカスタマイズできます。たとえば、特定のソフトウェアのアイコンを選択して「グリップペン」の設定を変更すると、その変更はそのソフトウェアを使用している場合にかぎり、グリップペンに適用されます。特定のソフトウェアに対する設定は、すべてのワコム製ペンタブレットと液晶ペンタブレット、およびExpressKey Remoteデバイスで使用できます。

- 特定のソフトウェアに対する設定を追加すると、「すべて」アイコンが「その他すべて」に変わり、新しく追加されたソフトウェアのアイコンが表示されます。
- ソフトウェアを追加した後で対象入力デバイスを「入力デバイス」リストから選択すると、追加したソフトウェアのアイコンが「アプリケーション」リストに表示されます。
- 追加したソフトウェアを選択して、次に「ワコムタブレットのプロパティ」を開いて入力デバイスとソフトウェアをカスタマイズします。



特定のソフトウェアに対する設定を作成するには：

1. 「ワコムタブレットのプロパティ」で、特定のソフトウェアに対する設定を作成する「デバイス」および「入力デバイス」を選択します。
2. 「アプリケーション」リストからアプリケーションを選択して、「+」ボタンをクリックします。
3. 「開いているアプリケーション」ボックスから、カスタマイズ設定を作成するソフトウェアを選択します。または、「参照」を選択して、コンピュータにインストールされているソフトウェアの実行ファイルを選択します。
4. 「OK」をクリックします。

特定のソフトウェアに対する設定を削除するには：

1. 「入力デバイス」リストで、特定のソフトウェアに対する設定を削除したい入力デバイスを選択します。
2. 「アプリケーション」リストで、削除したいソフトウェアを選択します。
3. 「アプリケーション」リストで、「-」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスで「削除」をクリックして、選択を確認します。選択したソフトウェアは、入力デバイスの設定とともにリストから削除されます。
4. 1つの入力デバイスから特定のソフトウェアに対する設定をすべて削除するには、「入力デバイス」リストからその入力デバイスを削除します。次に入力デバイスをペンタブレットの上に戻すと、入力デバイスは、標準設定の状態ですべて「入力デバイス」リストに追加されます。

注意：この方法では、カスタマイズされた「ファンクション」設定は削除できません。

Photoshop®やIllustrator®など一般的なソフトウェアで作業をする場合、ペンタブレットのタブレットドライバがソフトウェアを検出し、ExpressKeys™の機能をそのソフトウェアでよく使われている機能に設定します。

補足：

- 2つのソフトウェアの実行ファイル名が同じであれば、この2つのソフトウェアはカスタマイズされた設定を共有します。
- 特定のソフトウェア向けにファンクションキーをカスタマイズした場合、その設定はソフトウェアによって自動で割り当てられる標準設定よりも優先されます。ファンクションキーの設定がそのソフトウェア向けにカスタマイズされていない場合のみ、標準設定が自動で有効になります。

オンスクリーンコントロール

ワコムオンスクリーンコントロールでは、画面に表示され、スクリーンキーパネルと呼ばれる、最大8台のペンタブレットまたは液晶ペンタブレット機能のセットを作成できます。ペンまたはマウスで対応するキーをタップするか、デバイスにタッチ機能がある場合は指でタップして、スクリーンキーパネルから機能を選択します。



新しいスクリーンキーパネルの作成、または既存のパネルの編集、複製、または削除には、次の手順に従います。

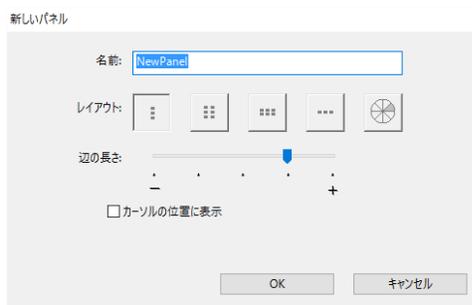
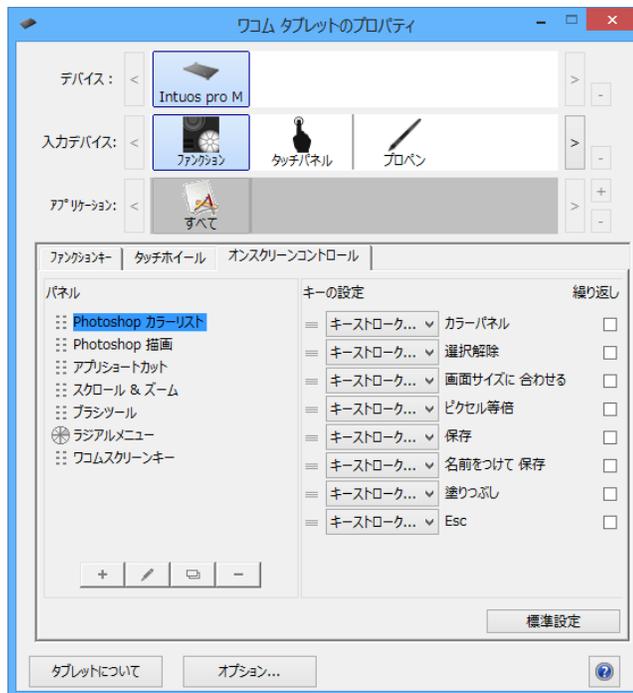
1. 「ワコムタブレットのプロパティ」を開きます。
2. 「入力デバイス」リストで「機能」をクリックします。
3. 「オンスクリーンコントロール」タブをクリックします。左下にある「編集」ボタンでは、左から順に、スクリーンキーパネルの次のオプションが利用できます。

4. 目的の機能に該当するボタンをクリックします。「新しいパネル」というダイアログが新しいスクリーンキーパネルが開きます。既存のパネルについては、ダイアログにパネルの名前が表示されます。
5. 新しいスクリーンキーの設定を入力するか、または既存の設定を編集して、「OK」をクリックします。新しいまたは編集されたパネルが「パネル」リストに表示されます。詳細については、[オンスクリーンコントロールのカスタマイズ](#)をご覧ください。

注意: スクリーンキーパネルのデフォルトのレイアウトは1 x 8の垂直ストリップであり、1つのキーが最初に「設定内容」に割り当てられています。残りのキーは、設定を選択するまで無効になります。

スクリーンキーパネルで次の手順に従います。

- パネルを開いた状態で維持するには、「押しピン」アイコンをクリックします。
- パネルから「オンスクリーンコントロール」タブに「ワコムタブレットのプロパティ」を開くには、「レンチ」アイコンをクリックします。



オンスクリーンコントロールのカスタマイズ

スクリーンキーパネルをカスタマイズするには、次の手順に従います。

1. 「パネル」リストからパネルの名前を選択します。
2. 「キー設定」の下にあるドロップダウンメニューから各キーの機能を選択します。それぞれのキーで、割り当てた機能が表示されます。
3. 割り当てる機能として「キーストローク」を選択すると、キーストロークを入力できるように「キーストローク」ダイアログボックスが表示されます
注意: 必要に応じてキーに機能を割り当てるができます。ただし、画面に表示するパネルの各スクリーンキーパネルでは、少なくとも1個のキーに機能を割り当てる必要があります。
4. 「キー設定」リストでドロップダウンメニューの順番を変更するには、メニューの左側にあるドラッグのアイコンを使って、メニューをリスト内の新しい位置にドラッグします。
5. 「キー設定」の右側にある「繰り返し」チェックボックスをクリックすると、キーを押し続けたときにキーの機能を繰り返します。
6. ペン、マウス、または指でパネルの上部にあるドラッグバーを長押しし、パネルを新しい位置にドラッグすると、スクリーンキーパネルの位置を変更できます。

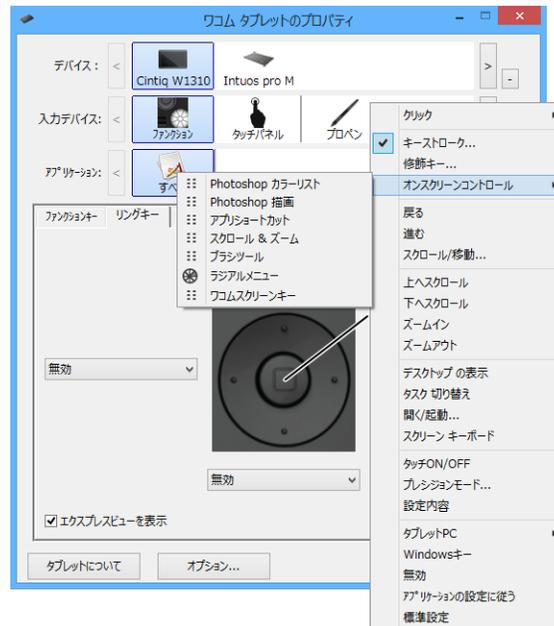
「新しいパネル」ダイアログで次の手順に従います。

1. 「新しいパネル」ダイアログにある目的の「レイアウト」アイコンをクリックして、スクリーンキーパネルのレイアウトを変更します。
2. 「サイズ」スライダを調整してパネル全体のサイズを設定します。パネルは、パネル上で割り当てられたキーの数に合わせてサイズ変更されます。
3. 「カーソルの位置に表示」チェックボックスをクリックして、パネルをカーソルの位置に表示します。



スクリーンキーパネルをファンクションキーまたはボタンに機能を割り当てるには、次の手順に従います。

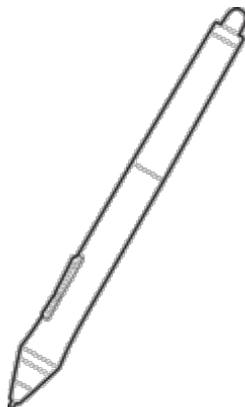
1. コントロールを設定するための適切なタブを選択します。
2. 「ファンクションキー」のドロップダウンメニューまたはボタンから「オンスクリーンコントロール」を選択して、その項目に割り当てるパネルを選択します。



参照項目：
[オンスクリーンコントロール](#)

ペン入力の概要

すべてのワコム製品には、コードレスで電池レスのペンが付属しています。通常のペンと同様に持って、文字を書いたり描画できます。



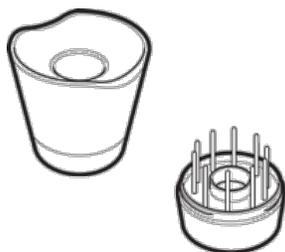
- ペン先の芯は交換が可能です。
- 親指または人さし指で操作するサイドスイッチです。「ワコムタブレットのプロパティ」の「ペン」タブでサイドスイッチの機能を設定します。[ペンを使う](#)をご覧ください。
- テールスイッチ(消しゴム)は、消しゴムの使用に対応する任意のアプリケーションで、鉛筆に付いている消しゴムと同様に機能します。一部のペンタブレットモデルのペンには消しゴムがありません。
- 自分用のペンを識別できるカラーペンリングが付属しているペンもあります。ペンの先端部分を回して軸から外し、ペンにカラーペンリングを取り付けます

ペン収納ホルダー

一部のワコム製品には、ペンを保管または固定しておくペンケースまたはペンスタンド、および芯抜きが付属しています。芯抜きは、ペンスタンド下部の中央に設置されている金属の輪です。ペンにペンケースまたはスタンドが付属していない場合、磁気でデバイスのベゼルに取り付けるか、またはペン紛失防止ケーブルを取り付けられます。

ペンスタンドがある場合、新しい替え芯はペンスタンドのベースの中にあります。ペンスタンドを回して外し、芯抜きと替え芯を取り出すことができます。新しい替え芯が小さいプラスチック袋に入っているモデルやタブレットの背面カバーの裏にあるモデルもあります。

各ペンタブレットまたは液晶ペンタブレットの詳細については、[機能トピック](#)をご覧ください。



重要: ペンを使用しないときは、ペン先を下にしてペンスタンドに置か、ベゼルに取り付けるなどして、ペン先またはテールスイッチ(消しゴム)に圧力がかからないようにペンを置きます。マウスの使用時にポインタの移動ができなくなったり、コンピュータがスリープ状態に入るのを妨げたりする場合がありますため、ペンをペンタブレット上に置いたままにしないでください。

特殊なペン

インクペンやエアブラシペンなど、高度なアートワークのために設計されたペンは、さまざまなペンタブレットや液晶ペンタブレットで使用できます。ペンタブレットまたは液晶ペンタブレットで使用できるその他のペンとオプション品の詳細については、wacom.comに移動して「ストア」をクリックしてください。

ペンを使う

通常のペンや鉛筆と同様に、ペンを持ってください。親指または人さし指でサイドスイッチの切り替えができるように、持ち方を調節してください。ペンで線を引いたり位置を決めたりするときに誤ってサイドスイッチを押さないようにしてください。

ペン先の感触、筆圧、消しゴムの感触、サイドスイッチ、特定のソフトウェアに対するペン機能をカスタマイズできます。ペン入力をカスタマイズする場合は、「ワコムタブレットのプロパティ」の「入力デバイス」のリストからグリップペンを選択します。「ペン」タブを選択して、使用可能なオプションから選択します。これらのペン先でペンタブレットの操作面に触れると、「入力デバイス」リストにペンが表示されます。

- **ポインタの移動**: ペンタブレットの表面に触れずに操作エリアの少し上でペンを動かします。ペン先でペンタブレットの表面を押すと、選択を行えます。画面をペン先で1回軽くたたか、クリックと認識されるぐらいの筆圧でペン先を画面に押し当てます。
- **ダブルクリック**: 上側のサイドスイッチを押すか(「ダブルクリック」に設定されている場合)、同じ場所でペンタブレットの表面をペン先ですばやく2回、軽くたたきます。
- **消しゴム**: 鉛筆に付いている消しゴムと同様にテールスイッチ(消しゴム)を使用します。
- **移動**: オブジェクトを選択して、ペン先をペンタブレット面でスライドさせると、オブジェクトを移動できます。
- **線のコントロール**: 「ワコムタブレットのプロパティ」のオプションを使用して、線の形状と太さを設定し、ブラシの特性を調節して、この機能に対応するソフトウェアで思い通りの表現が可能になります。
- **筆圧感度**: ペン先に加える下方圧力を変化させながら操作エリア内でペンを使用します。強く押すと、線が太くなったり色が濃くなります。軽く押すと、線が細くなったり色が薄くなります。

サイドスイッチを使う

ペンのサイドスイッチには、カスタマイズ可能な2種類のボタン機能を割り当てられます。ペン先がペンタブレットの操作エリアから高さ約10 mm以内にある場合に、サイドスイッチを使用することができます。ペン先がペンタブレットにタッチしていなくても、サイドスイッチは使用できます。

サイドスイッチの標準設定:

- **上側**: ダブルクリック。サイドスイッチを押すことにより、ペン先で2回ペンタブレットをたたくよりも簡単にダブルクリックすることができます。
- **下側**: 右ボタンクリック。特定のソフトウェア、または特定のアイコンのメニューを表示させます。

操作エリア内で書類または画像を移動させるには、以下の手順に従います。

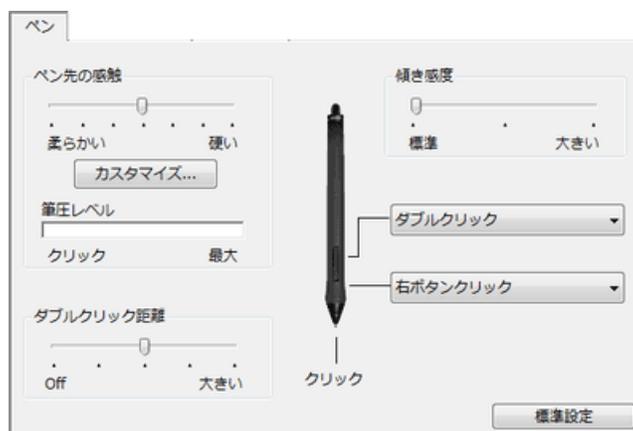
- サイドスイッチに「スクロール/移動」を割り当てます。
- サイドスイッチを押しながら、ペン先をペンタブレット操作面上で動かして、画像を任意の方向に移動します。
- 目的位置まで移動させたら、サイドスイッチから指を離すか、ペン先を画面から離してください。

ソフトウェアによっては、ペン先の動きに対応する画面上のポインタに合わせて正確に書類や画像が移動する場合もあれば、画面上のポインタとだいたい同じ方向に書類や画像が移動するだけの場合もあります。

ペン入力のカスタマイズ

ペン先の感触、筆圧、消しゴムの感触、サイドスイッチ、特定のソフトウェアに対するペン機能をカスタマイズできます。ペン入力をカスタマイズする場合は、「ワコムタブレットのプロパティ」の「入力デバイス」のリストからグリップペンを選択します。「ペン」タブを選択して、使用可能なオプションから選択します。

- この2つのドロップダウンメニューで、上部、または下部のサイドスイッチを押した場合に働くボタン機能を選択します。ペンタブレットにペンを接触させずに、表面から10 mm以内にペン先を近づけて、サイドスイッチを押した場合、設定した機能が働きます。
- 「ダブルクリック距離」スライダを調節して、望ましいタブレットからのダブルクリックの距離を設定します。
- 「ペン先の感触」スライダを調節して、クリックしたり線を描いたり色を塗ったりする際のペン先の感触をカスタマイズします。
- ポインタを「ワコムタブレットのプロパティ」の外に置き、「筆圧レベル」バーを押して、ペン先の筆圧レベルを決定します。
- 「傾き感度」スライダを調節して、傾き感度の大きさを調整できます。傾き検出に対応したソフトウェアで新しい設定をテストしてください。傾きの感度の設定はペン先およびテールスイッチ(消しゴム)の両方に適用されます。傾きはペンを動かす方向に反応します。ソフトウェアによっては、ブラシの方向やその他の特性をコントロールするために、傾きが使えます。
- ペン先の感触をさらに細かく設定するには、「カスタマイズ」をクリックしてください。[ペン先とテールスイッチ\(消しゴム\)の詳細な設定](#)をご覧ください。



- このペン先をダブルクリックすると、機能を変更することができます。
- ペンのボタンのいずれか1つを、必ず「クリック」機能に設定してください。
- グラフィックソフトウェアで線を描くためには、ペン先が「クリック」に設定されている必要があります。

サイドスイッチで右クリックや他のクリック機能を実行する際の操作方法を変えることができます。[オプション設定](#)をご覧ください。

ヒント:

- 「ダブルクリック」をサイドスイッチに設定すると、簡単にダブルクリックすることができます。
- 「ペン先の感触」スライダを「柔らかい」へ移動すると、筆圧の感度が高まります。筆圧対応のグラフィックソフトウェアでは、この設定をお勧めします。
- ソフトウェアによっては、柔らかい筆圧の設定に過剰に反応し、電子ペンを少し押しただけでブラシサイズが画面上で拡大する場合があります。その場合は、「ペン先の感触」スライダを「硬い」へ移動してみてください。
- グラフィックソフトによっては、ダブルクリック距離を大きくすると筆のストロークの開始が遅れることがあります。この場合、ドラッグ操作やインクのストロークの開始も遅れる場合があります。その場合は、ダブルクリック距離を小さく設定し、ダブルクリックはサイドスイッチに設定してください。ファンクションキーをダブルクリックに設定することも可能です。

ワコムではIntuos Proのオプション品として、デバイスと互換性があるアートペンやエアブラシなど各種のペンを提供しています。これらの入力デバイスは、タブレットドライバに対応しています。これらのペン先でペンタブレットの操作面に触れると、「入力デバイス」リストにアイコンが表示されます。そして「ワコムタブレットのプロパティ」には、新しい入力デバイスとカスタマイズ対象のオプションが表示されます。

- アートペンは筆圧対応のペン先と消しゴムを搭載し、傾き検出と回転機能にも対応しています。ペン軸の回転はカリグラフィブラシやアナログのマーカーのような描写を実現し、この機能に対応しているソフトウェア内でユニークな効果を生み出します。
- エアブラシは、アナログのエアブラシの感覚そのままに作業できるデジタルエアブラシです。筆圧対応のペン先と消しゴム機能、傾き検出、およびホイール機能を搭載し、デジタルペイントのソフトウェアを制御します。

これらの入力デバイスに対応したソフトウェアでは、ソフトウェア内でアートペンの回転やエアブラシのホイール機能の調節などを行うことができません。詳しくはソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

テールスイッチ

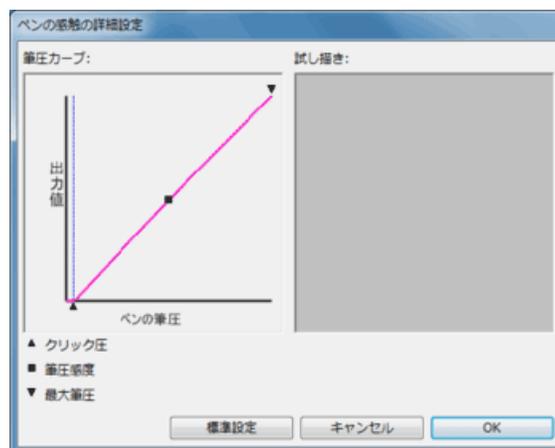
「テールスイッチ」タブを選択して消しゴムの感触を調節できます。



- 「消しゴムの感触」スライダを調節して、テールスイッチ(消しゴム)を使うときに必要な筆圧をカスタマイズします。
- 「消しゴム」プルダウンメニューで、テールスイッチを使う際に実行する機能を選択します。
- テールスイッチ(消しゴム)の感触をさらに細かく設定するには、「カスタマイズ」をクリックします。
- ポインタをコントロールパネルの外に置き、「筆圧レベル」バーを押して、ペン先の筆圧レベルを決定します。

ペン先とテールスイッチ(消しゴム)の詳細な設定

ペン先または消しゴムの筆圧をさらにカスタマイズする場合、「ペン」または「テールスイッチ」タブを選択し、「カスタマイズ...」ボタンをクリックします。「ペンの感触の詳細設定」ダイアログボックスのオプションで、ペン先または消しゴムの筆圧感度とクリックと判定される筆圧の設定を変更できます。



- 「ペンの感触の詳細設定」ダイアログボックスには、選択した筆圧感度の曲線とクリック圧の設定が表示されます。筆圧の各コントロールを動かして、設定を変更します。
- 「クリック圧」は、筆圧の登録やペン先でのクリックに必要な荷重を設定します。
- 「筆圧感度」を調整し、筆圧カーブの傾きを変更します。
- 「最大筆圧」は、最大筆圧を得るために必要な荷重を設定します。
- ペン先または消しゴムを使って、「試し描き」ボックス内で何度か試し描きしてみて、テストしてみてください。
- 筆圧カーブを変更することで、ペンの感度を簡単に調整することができます。

注意: 「ペン」または「テールスイッチ」では、「詳細な設定」をカスタマイズしてから、「ペン先の感触」または「消しゴムの感触」のスライダをドラッグすると、「詳細な設定」で設定した内容が上書きされます。

Windowsインクを搭載したペン

Microsoft Windows 8、Windows 7 (StarterおよびHome Basicを除く)、およびWindows Vista (Home Basicを除く)は、ペン入力機能に対応しています。次の機能が含まれます。

- **手書き認識**: ペンタブレットですばやく書いた手書き文字をテキストに変換する機能です。
- **ジェスチャー**: ペンタブレットの操作面での簡単な動作によって、カスタマイズ可能な操作を実行できます。ジェスチャー機能をカスタマイズするには、「ペンとタッチ」コントロールパネルの「フリック」タブを選択します。
- **デジタルインク機能** (Microsoft Office 2007以降) ペンタブレットを接続し、ペンを使って手書き文字や図形などを自由に書き込むことができる機能です。

Windowsの入力パネルでは、電子ペンを使って手書きするか、画面上のキーボードでテキストを直接入力するかを設定できます。

注意: ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」機能は、グラフィックソフトによっては無効になります。

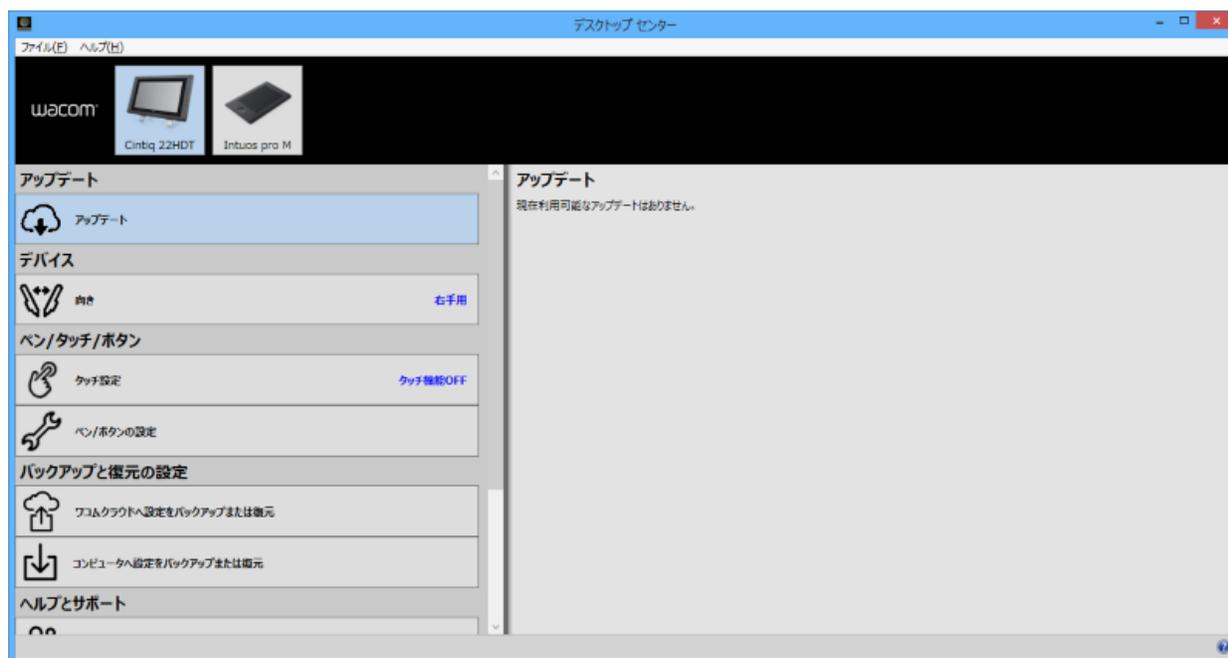
ワコムデスクトップセンター

ワコムデスクトップセンターは、お使いのペンタブレットの設定、使用方法情報の入手、および関連Webサイトへの接続が可能なユーティリティです。

ワコムデスクトップセンターの左上のタブレット選択バーには、使用中のすべてのワコム製ペンタブレットが表示されます。特定のペンタブレットのタブレットドライバの更新、設定のカスタマイズ、またはその他の操作を行うには、該当ペンタブレットのアイコンをタブレット選択バーで選択していることを確認してください。

ワコムデスクトップセンターの左側のカテゴリを選択すると、該当カテゴリで使用可能なオプションが表示されます。

注意：ワコムデスクトップセンターの外観は、使用しているペンタブレットまたは液晶ペンタブレットに応じて異なる場合があります。たとえば、「タッチ設定」と「向き」は、これらの機能に対応していないデバイスの使用時には使用できません。



- **アップデート：**
 - タブレットドライバ、ファームウェア、およびBIOSに使用可能なソフトウェアアップデートを表示します。アップデートが使用可能な場合は、これを選択して画面の指示に従ってインストールします。
- **デバイス：**
 - 向き：お好みのExpressKeys™の位置を選択します（右または左）。
 - 右手用、左手用：左利き用または右利き用のオプションを選択します。
- **ペン/タッチ/ボタン：**
 - タッチ設定：タッチ入力およびジェスチャーの設定を選択します。
 - ペン/ボタンの設定：次の機能の「タブレットのプロパティ」設定にアクセスします。
 - ペンで表示できるペンの一般的な使い方。
 - ファンクションキー、タッチホイール、オンスクリーンコントロール、およびリングキーの設定。
- **バックアップと復元の設定：**
 - Wacom Cloudで設定のバックアップと復元を行います。セキュリティで保護されたリモートサーバ上のワコムストレージを使って、ファイルのバックアップと復元、または設定の管理を行う場合は、このオプションを選択します。Wacom Cloudを初めて使うときに、アカウントの作成を求められます。
 - コンピュータで設定のバックアップと復元を行います。コンピュータでファイルのバックアップと復元を行うか、タブレット設定を工場出荷時の標準設定にリセットします。

- ヘルプとサポート:

- ソーシャルメディアとフォーラム: FacebookやTwitterなど、ペンタブレットの詳細情報の入手に役立つソーシャルメディアにアクセスします。
- ユーザーズガイド: 製品のユーザガイドやオンラインヘルプ、および「製品に関する重要なお知らせ」にアクセスします。このドキュメントには、製品の仕様、保証規約、および関連情報が記載されています。
- チュートリアル: ペンタブレットの使用開始時、および使用方法については、チュートリアルムービーでご紹介しています。ムービーにアクセスするには、ネットワークに接続する必要があります。
- サポート: ワコムサポートのオプションにアクセスします。
- 製品登録: ワコムクラブでお使いのペンタブレットを登録します。

液晶ペンタブレットのセットアップ

初めにペンタブレットのパッケージに同梱されている『クイックスタートガイド』をお読みください。『クイックスタートガイド』を参照して、同梱物の確認、液晶ペンタブレットのセットアップ、コンピュータとの接続を行ってください。[DTK-1651についての説明](#)もご覧ください。

液晶ペンタブレットの接続

DTK-1651をコンピュータ、およびオプションの2台目のディスプレイモニタに接続するには、『クイックスタートガイド』の設定手順をご覧ください。

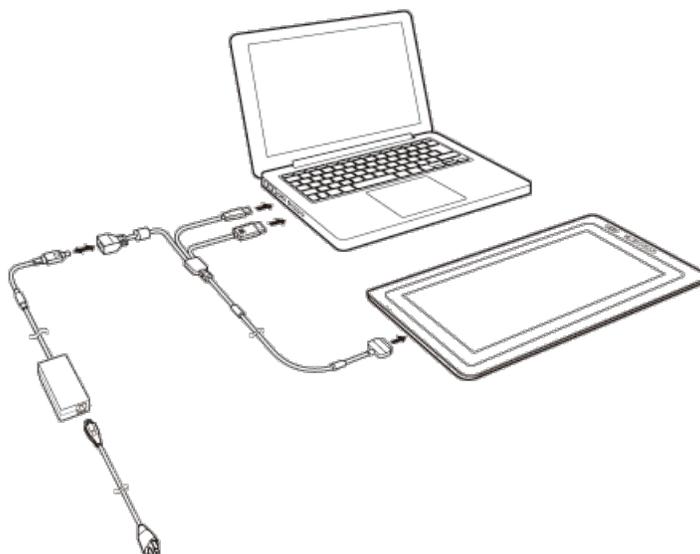
注意: 付属の専用接続ケーブル以外は使用しないでください。ワコムCintiq専用接続ケーブルを含むその他のケーブルは、DTK-1651と互換性がなく、使用した場合、故障の原因になる可能性があります。DTK-1651の交換用ケーブルを購入するには、最寄りのワコム代理店または販売店、またはカスタマーケアにお問い合わせください。

専用接続ケーブルを接続するかまたは取り外すには、次の手順に従います。

- ケーブルカバーが下にあるフックが外れるようにスライドさせて引き寄せます。
- ヒンジを使って、カバーを持ち上げます。
- ケーブルを接続するかまたは取り外し、カバーを下ろします。
- 隅にあるフックがかかるまで、本機に向けてカバーをスライドさせます。

コンピュータまたは2台目のディスプレイモニタがHDMIをサポートしない場合は、適切なアダプタケーブルを使用してデバイス入力または出力をHDMIに変換します。これらのケーブルのいずれかが必要な場合、ワコムサポートセンターまでお問い合わせください。

- コンピュータの電源をオフにします。
- 専用接続ケーブルのUSBとビデオのケーブルをコンピュータに接続します。
- 残りのケーブルをDTK-1651のコネクタに接続します。
- ACアダプタを専用接続ケーブルに接続します。
- 電源ケーブルをアダプタに接続します。
- ACアダプタを電源コンセントに差し込みます。
- DTK-1651の電源をオンにします。パワーランプが点灯します。
- コンピュータの電源をオンにします。

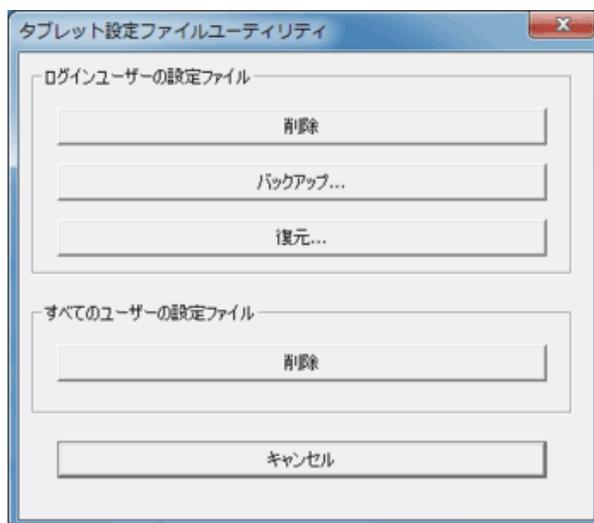


設定ファイルユーティリティ

デバイスが対応している場合、ワコムデスクトップセンターのバックアップ・復元機能を使うと、1人または複数のユーザのペンタブレット設定ファイルをコンピュータまたはWacom Cloudで管理、バックアップ、および復元することができます。Wacom Cloudのバックアップ・復元機能では、セキュアなリモートサーバ上のワコムストレージが使用されます。[ワコムデスクトップセンター](#)をご覧ください。

ワコムタブレット設定ファイルユーティリティを利用したバックアップ・復元機能

ワコムタブレット設定ファイルユーティリティを使って、設定のバックアップと復元をコンピュータで実行することもできます。



Windowsの場合：

- Windows 10[®]の場合：「スタート」ボタンをクリックして「すべてのアプリ」を選択します。「ワコムタブレット」→「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。起動中のソフトウェアをすべて閉じてから管理します。
- Windows 8[®]の場合：Windows 8のスタート画面（タイル）から「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」タイルを選択します。起動中のソフトウェアをすべて閉じてから設定します。
- Windows 7[®]の場合：「スタート」ボタンをクリックして「すべてのプログラム」を選択します。「ワコムタブレット」→「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。起動中のソフトウェアをすべて閉じてから管理します。

Mac[®]の場合：

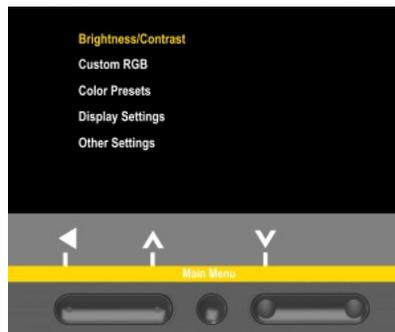
- メインメニューの「アプリケーション」フォルダを開きます。
- 「ワコムタブレット」を開き、「ワコムタブレット（設定ファイル）ユーティリティ」を実行します。

注意：すべてのユーザの設定ファイルを削除するには、管理者権限が必要です。

オンスクリーンディスプレイ設定

オンスクリーンディスプレイ (OSD) コントロールを使用して、各種表示設定を調整できます。

- 工場出荷時のプリセット: 最適な表示品質を得るには、ビデオカードの解像度を1920 x 1080に設定します。これがDTK-1651で使用できる最大(ネイティブ)の解像度です。詳細については、タブレットドライバCD-ROMおよびワコムの[カスタマーケア](#)からアクセスできる『製品に関する重要なお知らせ』ガイドをご覧ください。
- 自動同期: DTK-1651は自動的に入力信号と同期します。自動同期機能は、画面の水平位置と垂直位置、およびピッチと位相を設定します。自動同期は、サポートされている水平および垂直周波数範囲間で機能します。
- DTK-1651が入力信号と同期しない場合、OSDリセットまたはオートアジャストオプションを使用して表示の同期を開始します。
- 色調整: 色、色温度、コントラスト、輝度、またはバックライトを標準設定から変更すると、液晶ペンタブレットで使用するカラープロファイル設定が上書きされます。



メニューを閉じるには、OSD切り替えスイッチを押します。OSDメニューが閉じるとき、すべての設定が保存され、液晶ペンタブレットが次に類似の画像信号を受信したときに使用されます。これは、すべての表示モードに適用されます。

表示の外観を変更して元の設定に戻れない場合、「リセット」オプションを使用して、元の標準設定に戻します。

液晶ペンタブレットの試験

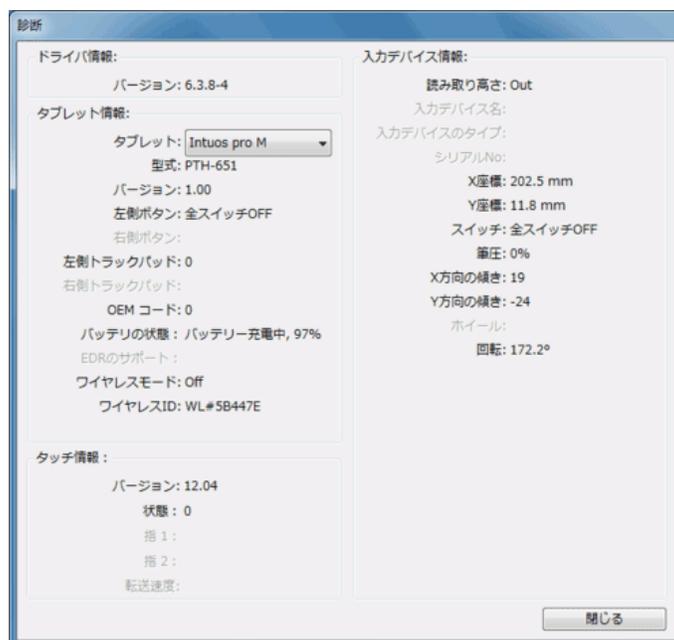
液晶ペンタブレットをコンピュータに接続し、ドライバをインストールした後、画面に何も表示されない場合は、以下の接続と要素を確認します。

1. コンピュータの電源を入れて、完全に起動するまで待ちます。
2. すべての電源ケーブルまたはアダプタが正しく接続され、LEDステータスランプが点灯しているときにことを確認します。
3. 液晶ペンタブレットがコンピュータに接続されている場合、USB接続を確認してください。
 - USB接続ケーブルが、コンピュータの利用可能なUSBポートにしっかり接続されていることを確認します。
 - 液晶ペンタブレットのUSB接続ケーブルに損傷がないかチェックします。
 - 液晶ペンタブレットをUSBハブ(またはUSBポートを持つハブデバイス)に接続している場合は、USBハブが正しくコンピュータに接続され、動作していることを確認してください。
 - コンピュータの電源を入れて起動が完了した後に、ステータスランプが点灯しない場合は、USBポートが無効である可能性があります。液晶ペンタブレットを、利用可能なUSBポートに接続していることを確認してください。
 - 液晶ペンタブレットを別のUSBポートに接続するか、別のコンピュータのUSBポートに接続して、問題が解決されるかどうかを確認します。
 - 液晶ペンタブレットに電源が供給されない問題のトラブルシューティングで最良の結果を得るには、液晶ペンタブレットをコンピュータ上のUSBポートに直接接続します。
 - システムにより液晶ペンタブレットが認識され機能していることが確認できるまで、使用中のすべての外部ハブを一時的に取り外します。液晶ペンタブレットが正しく動作したら、通常はUSBハブに接続できます。
4. お使いの液晶ペンタブレットがタッチに対応している場合は、タッチをチェックします。ペンタブレット面で指を動かして、画面のポインタが動くことを確認します。次にタップして項目を選択します。
 - ドライバが正しく読み込まれていない場合、基本的なタッチの動作のみ認識され、他の動作やジェスチャーは認識されません。ジェスチャーが認識されない場合は、タブレットドライバを再度インストールしてください。
5. 3. ファンクションキーおよびリングキーのチェックを行ってください。[ファンクションキーのテスト](#)をご覧ください。
6. お使いになっているその他の入力デバイスを確認します。
7. これらのテストのいずれかに不合格の場合、ハードウェアの故障が考えられます。[テクニカルサポート](#)をご覧ください。
8. テスト前に液晶ペンタブレットや入力デバイスをカスタム設定で使っていた場合は、テストが終わったら「ワコムタブレットのプロパティ」で設定を元に戻してください。

ファンクションキーのテスト

ファンクションキーまたはリングキーが思うように動作しない場合、割り当てた機能をチェックするか、あるいは標準設定の状態に戻してみてください。同梱品のテストの詳細については[液晶ペンタブレットのテスト](#)をご覧ください。

1. 「ワコムタブレットのプロパティ」を開いて、「タブレットについて」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスで「診断...」をクリックします。「診断」ダイアログボックスには液晶ペンタブレット、入力デバイス、そしてタッチ入力が可能なペンタブレットの情報が提示されます。
2. 複数の液晶ペンタブレットがシステムに接続されている場合は、「タブレット情報」メニューでテストするペンタブレットを選択してください。
3. ペンタブレットと入力デバイスをテストするには、ダイアログボックスに表示される情報をご利用ください。



ファンクションキーのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いたまま、各ファンクションキーをテストして「タブレット情報」欄を観察してください。「タブレット情報」メニューで、必ずテストするペンタブレットを選択してください。
2. ファンクションキーを1つずつ押してテストします。キーを押すと「左側ボタン」カテゴリ横にある番号が表示されます。
3. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックします。

リングキーのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いたまま、リングキーをテストして「タブレット情報」欄を観察してください。「タブレット情報」メニューで、テストするデバイスを必ず選択してください。
2. リングキーの方向キーとセンターボタンを一度に1個ずつ押します。「左側ボタン」カテゴリまたは「右側ボタン」カテゴリの横にそれぞれの数字が表示されます。
3. センターボタンとリングキーの各方向キーを押して、設定した機能が実行されることを確認してください。
4. 「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを終了します。

タッチホイールのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いたまま、タッチホイールをテストして「タブレット情報」欄を観察してください。「タブレット情報」メニューで、テストするデバイスを必ず選択してください。
2. タッチホイールの周りを一周するように指を滑らせます。テスト中のタッチホイールに応じて「左側トラックパッド」または「右側トラックパッド」に数値で示されます。
3. タッチホイールモードボタンを押して、モードを切り替えます。切り替えるたびに、対応するステータスランプが点灯するのを確認します。各ボタンを押すと、ボタン機能の割り当てがディスプレイ画面に少しの時間表示されます。「左側ボタン」カテゴリまたは「右側ボタン」カテ

リーのいずれかの横に数字が表示されます。タッチホイール機能に「スキップ」が設定された場合、切り替えの順番の中で対応するステータスランプは点灯しません。

4. 終了したら、「閉じる」ボタンを押してダイアログボックスを終了します。

これらのテストに不合格の場合はハードウェアの故障が考えられます。ワコム[テクニカルサポート](#)にアクセスしてください。

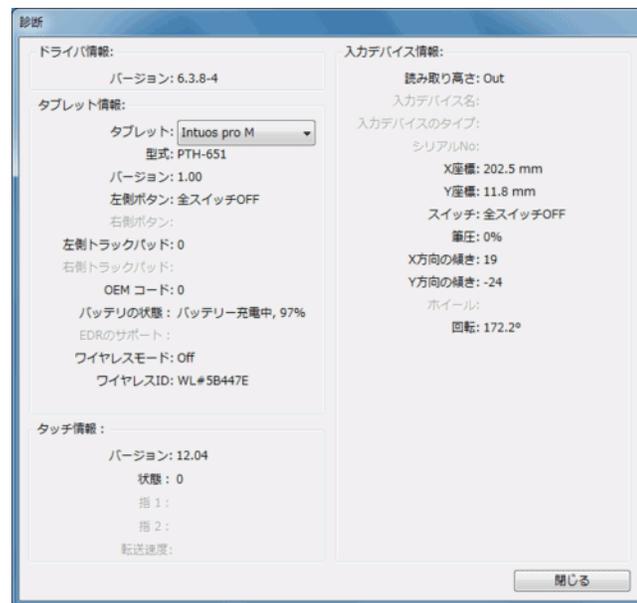
重要: ソフトウェアによっては、ファンクションキーまたはリングキーの設定が無効になったり、制限されたりする場合があります。リングキーのテストを行うときは、「ワコムタブレットのプロパティ」以外のソフトウェアを終了させることをお勧めします。

ペンのテスト

ペンが思うように動作しない場合、割り当てた機能をチェックするか、あるいは標準設定の状態に戻してみてください。

入力デバイスを標準設定の状態に戻すには、「タブレットのプロパティ」の「入力デバイス」リストからその入力デバイスを削除します。入力デバイスを選択し、「入力デバイス」リストの右側にある削除ボタン(マイナス記号)をクリックします。リストからアイコンが削除された後、その入力デバイスを再びタブレットの操作面に置きます。入力デバイスは標準設定の状態でもリストに再び追加されます。

1. タブレットドライバが正しく読み込まれていない場合、ペンは正常に動作しません。(ポインタの移動とクリック以外の動作ができません)。
2. ペンタブレットの操作エリアの上でペンを移動してみてください。画面上のポインタが、ディスプレイ画面で対応する方向へ移動すれば正常です。
3. ペンタブレットにペン先を押しあてます。ステータスランプが点灯します(または明るくなります)。次に、ペン先を押しあてずに、画面からおおよそ1cm以内のところまで浮かせたまま、サイドスイッチを押します。ステータスランプが、再度明るく点灯すれば正常です。
4. テールスイッチ(消しゴム)を画面に押しあてます。ステータスランプが明るく点灯すれば正常です。
5. 「ワコムタブレットのプロパティ」を開いて、「タブレットについて」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスで「診断...」をクリックします。



6. 「診断」ダイアログボックスを開いて「入力デバイス情報」欄を見ながら、入力デバイスを、タブレットの操作エリアから10 mmを超えないように浮かせます。「読み取り高さ」、「入力デバイス名」、「入力デバイスのタイプ」、「シリアルNo」の値が表示されます。複数のペンタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄で、入力デバイスをテストするペンタブレットが選択されていることを確認してください。
7. ペンタブレットの操作エリアでペンを移動させると、「X座標」と「Y座標」のデータの値が、ペン先の位置を反映して変化します。
8. ペンのデバイスボタンをテストします。ペン先でクリックしたり、サイドスイッチを押したり、あるいはテールスイッチ(消しゴム)を操作エリア上で押すと、ステータスランプが明るく点灯します。
 - 操作エリアをペン先でクリックします。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変化します。筆圧は圧力がまったくかかっていない状態から最大圧力をかけた状態まで、0%から100%の範囲で変化します。
 - ペンタブレットにペン先を押しあてずにサイドスイッチを押します。「スイッチ」の状態が変わります。両方のサイドスイッチに対してこの操作を行います。

電子ペンスイッチの状態	ペン先 = 1 サイドスイッチ(下側) = 2 サイドスイッチ(上側) = 3 消しゴム = 1
エアブラシスイッチの状態	ペン先 = 1 サイドスイッチ = 2 テールスイッチ(消しゴム) = 1

- テールスイッチ(消しゴム)を画面に押しあてます。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変化します。筆圧は圧力がまったくかかっていない状態から最大圧力をかけた状態まで、0%から100%の範囲で変化します。
 - オプションのエアブラシの場合は、ホイールを前に進めます。ホイールを完全に奥まで回すと、「ホイール」はおよそ0まで減少します。ホイールを手前に回します。完全に手前まで回すと、「ホイール」はおよそ1000まで増加します。
9. X軸方向の傾きをテストします。「X方向の傾き」は、ペンを垂直位置から右方向へ傾けると、およそ0から+60まで変わります。ペンを垂直位置から左方向へ傾けると、「X方向の傾き」は、およそ0から-60まで変わります。
 10. Y軸方向の傾きをテストします。「Y方向の傾き」は、ペンを垂直位置からペンタブレットの手前に傾けると、およそ0から+60まで変わります。ペンを垂直位置からペンタブレットの向こう側へ傾けると、「Y方向の傾き」は、およそ0から-60まで変わります。
 11. オプション品のアートペンの場合は、ペン先をタブレットの操作エリアに置き、軸を中心にして緩やかにペンを回転させ回転機能をテストします。ペンを回転させると「回転」の値が変化します。
 12. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックします。
 13. お使いのペンタブレットの新しいタブレットドライバがあるかどうかを確認するには、wacom.com にアクセスし、「サポート」をクリックしてください。

トラブルシューティング

お使いのペンタブレットで問題が発生した場合、以下のことを行ってください。

1. タブレットドライバが正しく読み込まれなかった場合、画面に表示されるエラーメッセージで推奨される処置を行ってください。それでも問題が解決されなかった場合は、ペンタブレットまたは液晶ペンタブレットで発生している技術的な問題のトラブルシューティング手順を確認してください。
2. ワコムのホームページのFAQ(よくある質問)を参照してください。
3. お使いのペンタブレットと新しいハードウェア、またはソフトウェア製品間に互換性の問題が発生した場合、新しいタブレットドライバが利用できるか確認するには、wacom.comに移動して「サポート」をクリックしてください。
4. ペンタブレットおよび入力デバイスをテストします。

ペンとタッチ入力、ワイヤレス通信(IntuosまたはIntuos Proの場合)、MacまたはWindowsに固有な問題については、ペンタブレットのテストに関するトピック、および特定のトラブルシューティングのトピックをご覧ください。

上記の解決のポイントを読んでも、問題が解決しそうにない場合は、wacom.comにアクセスし、「サポート」をクリックしてください。

トラブルシューティング - 一般の問題

お使いの液晶ペンタブレットで一般的な問題が発生した場合、以下の表を参照してください。複数の解決方法がある場合、問題が解決されるまで1つずつ試してください。

次の問題のトラブルシューティングのヘルプトピックもご覧ください。

[ペンおよびタッチの問題](#)

[MacおよびWindowsの問題](#)

詳細については、ワコムの[カスタマーケア](#)ページをご覧ください。または[ワコムサポートセンター](#)にお問い合わせください。

一般的な問題

コンピュータに使用可能なUSBポートがない。	USBハブに空きUSBポートがあるかどうか確認します。ない場合、USBハブまたはUSBカードを追加する必要があります。
ペンタブレットのステータスランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> ペンタブレットのUSB接続ケーブルが、ペンタブレットと利用可能なUSBポートに正しく接続されていることを確認します。 USBハブに接続している場合、利用可能なUSBポートにハブが接続され、動作していることを確認します。 別のUSBポート、またはUSB接続ケーブルと接続してみてください。 追加のケーブル配線やコネクタが正しく接続されていることを確認してください。
コンピュータが省電力状態にならない。	ペンやマウスなどの入力デバイスを使用しない場合、ペンタブレット面上に置かないでください。置いたままにすると、ペンタブレットはデータを送り続け、コンピュータは節電モードにはなりません。その他の金属類または導電性物質によってタブレットがデータを送り続けることもあります。使用しない期間は、汚れがつかないようにタブレットの表面をきれいに保ちます。
画面のポインタが揺れたり、予期しない場所に飛んだりする。	まれに、ペンタブレットはコンピュータ画面あるいはAMラジオ局から電磁波の影響を受ける場合があります。ディスプレイからの電磁波による影響に気付いた場合、ペンタブレットをディスプレイから30 cm以上離してみてください。あるいは、ディスプレイのリフレッシュレートまたは解像度を変更してください。
本機の電源が入っていて接続されているが、画面が映らない。	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータシステムのすべてのケーブルとアダプタの接続を確認してください。接続とケーブル配線に関するヘルプは『クイックスタートガイド』をご覧ください。 「ワコムタブレットのプロパティ」で「ディスプレイ」を開きます。 <ul style="list-style-type: none"> 液晶ペンタブレットと他のモニタの両方がディスプレイ設定に表示されていることを確認します。 ディスプレイ設定を、推奨されている解像度に変更して本機を有効化できるか試してください。 拡張(デスクトップが両方のディスプレイにわたって表示される)または複製(同じデスクトップが両方のディスプレイに表示される)のどちらかが機能していない場合はもう一方に切り替えてみてください。
ペンタブレットは「ファンクションキーを右側」(または「ファンクションキーを左側」)用に設定されているが、ログオン画面ではペンタブレットが上下逆に動作する。	<ul style="list-style-type: none"> ワコムデスクトップセンターでタブレットの向きを変更します。 タブレットドライバを再インストールします。手順については、本機に同梱されている『クイックスタートガイド』をご覧ください。また、ヘルプトピックの「タブレットドライバのインストール」をご覧ください。
ソフトウェアによって、ファンクションキー、タッチホイール、またはリングキーが「ワコムタブレットのプロパティ」の設定と異なる動作をする。	ソフトウェアによっては、ファンクションキーまたはタッチホイールの設定が無効になったり、制限される場合があります。 タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う をご覧ください。 特定のソフトウェアに対する設定を使用している場合は、使用しているソフトウェアに対する設定を更新したかどうか確認してください。 特定のソフトウェアに対する設定 をご覧ください。

トラブルシューティング - ペンおよびタッチの問題

ペンタブレットを使用していてペンまたはタッチ機能で問題が発生した場合、以下の表を参照してください。複数の解決方法がある場合、問題が解決されるまで1つずつ試してください。

追加情報については、wacom.comにアクセスし、「サポート」をクリックしてください。

ペンで画面のポインタの移動ができない、または正しく動かない。	<p>ドライバが正しくインストールされていない可能性があります。その場合、ペン入力で行えるのはポインタの移動とクリックだけになります。</p> <p>ペン入力とタッチ入力の両方に対応したペンタブレットの場合、基本的なタッチは認識されますが、それ以外の操作やジェスチャーは認識されません。</p> <p>このような場合は、タブレットドライバをインストール(または再インストール)してください。</p>
ペンで筆圧感度を使った線を引く、塗るなどの動作ができない。	<p>ソフトウェアによっては、ソフトウェアや使用する入力デバイスで筆圧機能を利用可能にするための設定が必要な場合があります。</p> <p>お使いのソフトウェアが筆圧に対応していることを確認してください。</p>
クリックが利かない。	「ペン先の感触」スライダを「柔らかい」へ移動してください。
ダブルクリックが利かない。	<ul style="list-style-type: none"> ペンタブレットの操作エリアの同じ場所をすばやく2回たたいていることを確認してください。ワコムではサイドスイッチを使ってダブルクリックすることをお勧めしています。 「ワコムタブレットのプロパティ」から「ペン」タブを開きます。「ダブルクリック距離」を長くするか、「ペン先の感触」スライダを「柔らかい」へ移動してください。 ファンクションキーの1つを「ダブルクリック」に設定して、ダブルクリックをファンクションキーで実行します。
ペンがあらゆるものを選択する。選択が解除できない。	<ul style="list-style-type: none"> 「ワコムタブレットのプロパティ」から「ペン」タブを開きます。「ペン先の感触」スライダを「硬い」方へ移動させるか、「カスタマイズ...」を選択し、「クリック圧」の設定を大きくします。 以上で効果がない場合は、液晶ペンタブレットのテストをご覧ください。 ペンのクリーニングが必要か、ペン先(芯)がすり減っている可能性があります。お手入れとメンテナンスをご覧ください。
消しゴムがあらゆるものを選択する。消し続ける。	<ul style="list-style-type: none"> 「ワコムタブレットのプロパティ」から「テールスイッチ」タブを開きます。「消しゴムの感触」スライダを「硬い」方へ移動させるか、「カスタマイズ...」を選択し、「クリック圧」の設定を大きくします。 以上で効果がない場合は、液晶ペンタブレットのテストをご覧ください。 ペンのクリーニングが必要か、ペン先(芯)がすり減っている可能性があります。お手入れとメンテナンスをご覧ください。
ペンまたはインクのストロークの開始が遅れる。	<ul style="list-style-type: none"> 「ワコムタブレットのプロパティ」から「ペン」タブを開きます。「ペン」タブで、「ダブルクリック距離」を少なくしてください。動作しない場合、「ダブルクリック距離」のスライダを「Off」へ動かしてダブルクリックアシストをオフにします。 オペレーティングシステムのInk機能をオフにしてください。
クリック、描画、あるいは文字を書くときに、ペンを強く押さなければならない。	<ul style="list-style-type: none"> 「ワコムタブレットのプロパティ」から「ペン」タブを開きます。「ペン先の感触」スライダを「柔らかい」へ移動します。 「カスタマイズ...」を選択して、「筆圧感度」と「クリック圧」の設定を減少させます。
ペン先が利かない。	<ul style="list-style-type: none"> 互換性のあるワコム製のペン(付属品など)、またはお使いのペンタブレットに対応しているオプション品のペンを使用していることを確認してください。 「ペン」タブで、「クリック」機能がペン先に割り当てられていることを確認してください。
ペンやその他の入力デバイスに対して機能の設定を変更しても反映されていない。	使用中の入力デバイスとソフトウェアに対して、設定変更を行ったかを確認してください。 特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定および複数の入力デバイスでの作業 をご覧ください。

サイドスイッチが利かない。	<ul style="list-style-type: none"> • 互換性のあるワコム製のペン(付属品など)、またはお使いのペンタブレットに対応しているオプション品のペンを使用していることを確認してください。 • ペン先がペンタブレットの操作エリアから高さ約10 mm以内にある場合に、サイドスイッチを使用することができます。ペン先でペンタブレットを押さずにこれを行ってください。 • 「タブレットのプロパティ」で、サイドスイッチが、使用中のソフトウェアと入力デバイスで実行する機能に設定されていることを確認してください。 • 「サイドスイッチエキスパートモード」も確認してください。「ペン先とともにクリック」が選択されている場合は、クリック操作を行うためには、サイドスイッチを押しながらペン先をペンタブレット表面にタッチする必要があります。オプション設定をご覧ください。
画面のポインタがジャンプして引き戻される。	使用していないときや、他のポインティングデバイスを使用しているときは、ペンタブレットの上に入力デバイスを置かないでください。
マルチディスプレイ環境で、1つのディスプレイでしかペンが機能しない。	<ul style="list-style-type: none"> • 「マッピング画面切り替え」を割り当てたファンクションキーまたはサイドスイッチを押して、お使いのペンタブレットのペンで操作するディスプレイを切り替えてください。 • 「マッピング」タブの「表示エリア」が「全画面」に設定されていることを確認してください。 • マウスモードでペンを使って、他のディスプレイを操作することもできます。マウスモードにするには、初めにサイドスイッチを「ペン⇄マウスモード...」に設定します。次に、そのサイドスイッチを使ってペンモードとマウスモードを切り替えます。
タッチに対応しているデバイスの場合： タッチができない。	<ul style="list-style-type: none"> • 「タッチ機能on/off切り替え」に設定されているファンクションキーを押してタッチを有効にします。 • 「タブレットのプロパティ」を開いて「タッチ」アイコンをクリックしてから「ジェスチャーの標準設定」、「ジェスチャーの個別設定」、または「タッチオプション」タブを選択します。「タッチ入力を有効にする」オプションが選択されていることを確認してください。
タッチが一部しか機能しない。画面のポインタは動かせるが、もっと複雑な操作は機能しない。	タブレットドライバが正しく読み込まれていない場合、基本的なタッチの動作のみ認識され、他の動作やジェスチャーは認識されません。このような場合は、タブレットドライバをインストール(または再インストール)します。ペンタブレットドライバの再インストールを試してみてください。
複数の指でタッチした場合に、正しく認識されない。	指同士が近づきすぎている場合、ペンタブレットが別々の指として認識していない可能性があります。指同士をもう少し離して動かしてみてください。
Adobe Photoshop®使用中に、ズームイン、ズームアウトができない。	Photoshopのズーム機能が正常に動作しない場合は、Photoshopの「環境設定」オプションで「スクロールホイールでズーム」機能が選択されていないことを確認してください。
ソフトウェアによってジェスチャーの回転の動作が変わる。あるいは全く機能しない。	回転機能は、お使いのソフトウェアによって動き方が異なります。またソフトウェアによっては全く動作しない場合もあります。これはソフトウェア側の仕様となります。このジェスチャーをタブレットに正しく認識させるために、2本の指を斜めに25 mm以上離してからタブレット操作面に置き、回転中もその指の間隔を維持してください。

トラブルシューティング - オペレーティングシステム

ペンタブレットを使用していてオペレーティングシステムで問題が発生した場合、以下の表を参照してください。複数の解決方法がある場合、問題が解決されるまで1つずつ試してください。必要に応じて、一般的なトラブルシューティング、ペンおよびタッチ入力、ワイヤレス通信のトピックもご覧ください。

追加情報については、wacom.comにアクセスし、「サポート」をクリックしてください。

<p>Macの場合：起動時：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ドライバの読み込みに失敗 • ペンタブレットの設定ファイルがまだ作成されていない 	<p>起動時に液晶ペンタブレットが検出されませんでした。</p> <p>付属のUSB接続ケーブルで接続されている場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> • USB接続ケーブルがコンピュータの有効なUSBポートまたはUSBハブに正しく接続され、ペンタブレットのステータスランプが点灯していることを確認してください。ペンタブレットをUSBハブに接続している場合、ハブが接続され、動作していることを確認してください。 • 「移動」メニューから「ユーティリティ」を選択して、「システムプロファイラ」もしくは「システム情報」を立ち上げます。「内容」の中の「ハードウェア」から「USB」を選択します。ワコムUSBペンタブレットの機種がリストされています。ペンタブレットの機種がリストにない場合、USBタブレットのケーブル接続を確認するかペンタブレットを別のUSBポートに接続してみてください。 • これで解決しない場合は、タブレットドライバをアンインストールしてから再インストールしてください。 • それでも問題が解消されない場合は、ワコムのテクニカルサポートまでお問い合わせください。
<p>Macの場合：Inkがペンタブレットで正常に動作しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Inkの設定ファイルに問題がある可能性があります。次の手順に従って設定ファイルを削除します。これらのファイルは、手書き認識の有効化時に再作成されます。 • 「システム環境設定」を開き、「すべてを表示」を選び、「Ink」を選択します。 • 手書き認識を無効にします。 • 「移動」メニューから、「ホーム」を選択します。「ライブラリ」を開いて、「Preferences」フォルダを開きます。次の設定ファイルを削除します。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ com.apple.ink.framework.plist ◦ com.apple.ink.inkpad.plist ◦ com.apple.ink.inkpad.sketch • 再度、「システム環境設定」→「Ink」を選択します。手書き認識を有効にします。 • ペンタブレットとペンを使用してInk機能をテストしています。 • この処理でInkの問題が解決されず、サポートが必要な場合は、Appleサポートにお問い合わせください。ワコムはInkを作成しません。また、サードパーティのソフトウェアアプリケーションをサポートできません。
<p>MacまたはWindows®：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ペンタブレットの設定ファイルが壊れている可能性がある。 • 設定を標準設定に戻したい。 	<p>ワコムデスクトップセンターのバックアップ・復元ユーティリティを使って設定を変更して、コンピュータまたはクラウドにこれらの設定を保存できます。ワコムデスクトップセンターをご覧ください。</p> <p>お使いのデバイスがワコムデスクトップセンターに対応していない場合、ワコムタブレット設定ファイルユーティリティを使って、(クラウドからではなく)コンピュータで設定を復元できます。タブレット設定を管理するをご覧ください。</p>

用語

操作エリア: タッチまたは入力デバイスが検出されるペンタブレット上の操作領域および描画領域。

特定のソフトウェアに対する設定: ソフトウェアごとに入力デバイスとペンタブレットの設定をカスタマイズします。特定のソフトウェアに対する設定は、設定したソフトウェアを使用すると必ず実行されます。

縦横比: ペンタブレット、またはディスプレイ画面の縦と横の比率。

クリック圧: クリックするとき、ペン先にかかる力の大きさ。

デジタルインク: コンピュータへのペン入力で作成した手書きのコンテンツについての総称。この手書きのコンテンツには、画像、インクマークアップ、手書きがあります。手書きのコンテンツは、キーボード入力されたテキストに変換するか、手書きのまま使用することができます。

マッピング画面切り替え: マルチディスプレイ全体、または1つのディスプレイを使って作業できます。システムがマルチディスプレイで構成されている場合にのみお使いになれます。

ダブルクリックアシスト: ダブルクリック距離の大きさを設定することにより、ダブルクリックを簡単にする機能。

ダブルクリック距離: ペン先でダブルクリックするとき、2回目のクリックがずれてもよい距離を画面のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくすると、ペン先でダブルクリックしやすくなりますが、グラフィックソフトウェアによっては、線の引きはじめにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで線が現れないことがあります。

ダブルクリック速度: ダブルクリックとして認識される、1回目と2回目のクリックの時間間隔の最大値。

消しゴム対応: 消しゴム機能に対応しているソフトウェア。ソフトウェアによっては、テールスイッチ(消しゴム)を別の機能に使うことができます。

エクスパンド: タッチによる操作での動作の1つ。2本の指をくっつけた状態でペンタブレットにタッチし、次にペンタブレットに触れたまま指を開きません。

ファンクションキー: ペンタブレットに装備されたカスタマイズ可能なコントロールキー。

ファンクションキーを左側: 「タブレットの向き」の設定。タッチホイールとファンクションキーがペンタブレットの左側になります。

ファンクションキーを右側: 「タブレットの向き」の設定。タッチホイールとファンクションキーがペンタブレットの右側になります。

ホイール: オプションのエアブラシを操作するホイール。

LED: Light-Emitting Diode(発光ダイオード)。ペンタブレットの表示ランプに使用されます。

マッピング: ペンタブレット上の入力デバイスの位置と画面上のポインタの位置との関係。

修飾キー: 修飾キーには、Windowsでは「Shift」、「Alt」、「Ctrl」キーが、Macでは「shift」、「control」、「command」、「option」キーが含まれます。サイドスイッチやファンクションキーを、修飾キーが実行されるようにカスタマイズすることができます。

ポインタの加速: 「マッピング」タブの設定で、マウスモードのときのポインタの加速を調整することができます。

マウスモード: ポインタの位置決めの方法。入力デバイスをペンタブレット上に置くと、ポインタは、従来のマウスと同様に動いた方向と距離に応じて移動します。これは相対位置で、マウスの標準設定です。

ポインタの速度: 「マッピング」タブの設定で、マウスモードのときのポインタのスピードを調整することができます。

芯: ペン先で交換が可能な部分。

ペアリング: 2台のデバイス間に仮想ケーブルリンクを確立する方法。

パン: タッチによる操作での動作の1つ。指でペンタブレットにタッチし、同じ方向に動かします。

ペン入力: ペンを使ってコンピュータを操作する方法。

ペンモード: ペン入力によるポインタの位置決め方法。ペンをペンタブレット上に置くと、画面のポインタは、画面上の対応点にジャンプします。これは絶対位置で、ペンデバイスの標準設定です。ペンモードでは、先に画面上でポインタを確認してデスクトップ上で動かさなくても、ポインタの位置をすぐに決められます。

ピンチ: タッチによる操作での動作の1つ。2本の指を少し離れた状態でペンタブレットにタッチし、次にペンタブレットに触れたまま2本の指をくっつけます。

ピクセル: 画面上の最小の測定単位。

筆圧対応: ペン先およびテールスイッチ(消しゴム)はそれぞれにかかる圧力を感知できます。筆圧に対応したソフトウェアで、ペン、ブラシ、消しゴムで自然な感じのストロークを作成するのに役立ちます。

筆圧対応ソフト: 筆圧機能に対応するソフトウェア。

読み取り高さ: ペンタブレットの操作エリアから対応デバイスの検知部分までの高さ。

オンスクリーンコントロールラジアルメニュー: オンスクリーンコントロールにある円形の階層メニュー。各階層のメニューは8つの項目から構成され、様々な機能やオプションを設定できます。メニューを表示するために、ペンやペンタブレットのボタンに機能を割り当てる必要があります。

回転: タッチによる操作での動作の1つ。2本の指を少し開いてペンタブレットにタッチし、円を描くように順方向/逆方向に回します。または1本の指を固定して、もう一方の指を固定した指の周囲を巡るように回します。

画面のポインタ: 表示画面のポインタ。ポインタは、起動しているソフトウェアにより、I型ポインタ、矢印、あるいはボックスなど様々な形に変わります。

スワイプ: タッチによる操作での動作の1つ。3本、4本、または5本の指でペンタブレットにタッチし、同じ方向に動かします。

タップ: タッチによる操作での動作の1つ。指1本(ジェスチャーの設定にはよっては複数の指)でペンタブレットにタッチしてから離します。

傾き感度: ペンタブレットに対する入力デバイスの傾きを読み取るペン先とテールスイッチ(消しゴム)の特性。これは、傾き対応のソフトウェアで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに役立ちます。

タッチ: タブレット上で、指先でコンピュータを操作する方法。タッチ入力とも呼ばれます。

タッチホイール: ペンタブレット上にある、カスタマイズ可能なリング状の装置です。

トラックパッド: Cintiq 22の背面にあるカスタマイズ可能なコントロールパッドです。

タッチセンサー: タッチ入力を検出するためのペンタブレットの操作領域。タッチセンサーは操作エリア内にあり、ペン入力は検出しません。

ドラッグ: タッチによる操作での動作の1つ。指1本でペンタブレット面にタッチし、そのまま移動させます。

USB: Universal Serial Busの略。コンピュータに周辺装置を接続するためのハードウェアインターフェース規格。

注文

デバイスの部品やアクセサリを購入するには、wacom.comに移動して「ストア」をクリックしてください。

最寄りの代理店、販売店、または[カスタマーケア](#)にお問い合わせいただくこともできます。

注意：

- 一部のオプション品は、地域によっては入手できない場合があります。
- DTK-1651の場合、このデバイス対応の専用接続ケーブルを購入し、それ以外は使用しないでください。ワコムCintiq専用接続ケーブルを含むその他のケーブルは、DTK-1651と互換性がなく、使用した場合、故障の原因になる可能性があります。DTK-1651の交換用ケーブルを購入するには、最寄りのワコム代理店または販売店、またはカスタマーケアにお問い合わせください。

テクニカルサポート

ペンタブレットに問題がある場合は、必ず製品のヘルプを参照してください。「タブレットのプロパティ」で疑問符のアイコンをクリックするか、ワコムデスクトップセンターで「ヘルプとサポート」オプションを選択すると、ヘルプにアクセスできます。ヘルプで問題が解決できない場合、次の方法をお試しください。

- 初めにペンタブレットの『クイックスタートガイド』を読んで、正しくセットアップされていることを確認してください。
- 次にヘルプの「トラブルシューティング」の表で、問題の解決方法を確認してください。
- ワコムの「[ユーザーサポート](#)」ページの製品FAQ(よくある質問)をチェックしてください。
- お使いのペンタブレット用の最新のドライバをワコムのWebサイトからダウンロードして、新しいタブレットドライバをインストールします。次にコンピュータを再起動して、問題が解決されているかどうかを確認してください。

ワコムサポートセンターに連絡する場合、次の情報を用意して、コンピュータをすぐに操作できる状態にしておくことをおすすめします。

- コンピュータの製造元と型式、およびオペレーティングシステムのバージョン
- コンピュータに接続された周辺機器
- 問題が発生したとき、使用していたソフトウェアとバージョン
- 画面に表示された正確なエラーメッセージ
- 問題が発生したとき、具体的に何が起こったか、起こったことをどのように処置したか
- どのように問題を解決しようとしたか

ワコムWebサイトにアクセスして、[お問い合わせフォーム](#)に必要な情報を入力することでも行うことができます。

お手入れのしかた

簡単なお手入れとメンテナンスをすることで、ワコム製品を最適な状態をご利用いただけます。

- ペンとペンタブレットは、ちりや砂ぼこりが付かないように清潔にお使いください。
- ペン芯は適宜交換し、磨耗したペン芯を使用してペンタブレット表面に傷がつかないようにしてください。
- ペンタブレットの表面を拭くときは、静電気防止布または軽く湿らせた布をお使いください。洗剤は使わないでください。
- ペンタブレットとペンは清潔で乾燥した場所に保管し、高温な場所は避けてください。
- カラーペンリングをペンに付ける場合を除き、ペンタブレットとペンを分解しないでください。製品を分解すると、保証が無効になります。

重要: ペンタブレットやペンに液体がかからないように注意してください。どちらにも電子部品が内蔵されているため、濡れると故障することがあります。

ペン芯を交換する

ペンタブレットに傷を付けずに最適な操作性を保つために、ペン先が短くなったり尖ったりした場合は交換してください。目安としてペン先が1 mm 以下になったら交換します。替え芯と芯抜きは、液晶ペンタブレットに付属しています。

ペン芯などのオプション品が必要な場合は、wacom.comに移動して「ストア」をクリックしてください。

芯の交換手順:

1. 芯抜き、ピンセット、毛抜き、ラジオペンチなどを使用して、古い芯をしっかりと掴んでペンからまっすぐ引き抜きます。
2. 新しい芯の先を、ペンの軸にまっすぐに差し込みます。芯が止まるまでゆっくと、しっかりと差し込んでください。

注意: ストローク芯にはバネが組み込まれているため、エアブラシを使う場合は独特の手応えが加わります。ストローク芯は、標準の芯と同じ方法で取り付けることができます。

商標について

Copyright© 2015 Wacom Co., Ltd.

All rights reserved. Wacom、Intuos、Cintiqおよびそれらのロゴは、株式会社ワコムの商標または登録商標です。

明確な個人使用の場合を除き、この情報のいかなる部分も複製できません。

ワコムは、最新の正確な情報を提供するようにできる限り努力をしています。タブレットドライバを含む本製品の仕様は、将来予告なしに変更することがあります。

IllustratorおよびPhotoshopは、アドビシステムズ社の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。Microsoft および Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。Apple、Appleロゴ、Macは、米国およびその他の国で登録されたアップル社の登録商標です。ExpressKeyは、Ginsan Industries, Inc.の商標であり、許可を得て使用しています。

DTK-1651には、High Definition Multimedia Interface (HDMI)テクノロジーが組み込まれています。HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

その他の会社名、および製品名はすべて、一般に各社の商標、または登録商標です。サードパーティ製品の言及は、情報の提供のみを目的としており、推薦や推奨の性質を持つものではありません。ワコムは、これらの製品の性能または使用に関して一切の責任を負いません。